

## 第6章 特別養護老人ホーム入所希望者調査結果

### 1 概況等

#### (1) 調査対象者の属性

- 調査記入者は、本人 2.7%に比べて、家族が 93.3%と高く、平成 28 年度調査（以下、「前回」と言う。）の家族記入割合（83.2%）を約 10 ポイント上回っています。（問 1）
- 入所希望者の性別は、女性（59.7%）が男性（35.6%）に比べて高くなっています。年齢をみると、前回に比べて前期高齢者（12.8%）が約 1 ポイント減少し、後期高齢者（82.6%）が約 2 ポイント増加しており、入所を希望する高齢者の高齢化が進んでいることがうかがえます。（問 2～3）
- 現在の生活場所は、「御自宅または家族等の家（ショートステイ御利用中や短期入院中を含む）」が 43.6%で最も多いものの、前回（57.5%）に比べて 10 ポイント以上減少しています。一方、「介護老人保健施設」入所割合は 26.2%と、前回（2.2%）を上回る結果となっています。  
 自宅や家族等の家での介護サービス利用は、「短期入所（ショートステイ）」が 72.3%と最も多く、前回（66.0%）に比べて約 6 ポイント増加している一方、「通所サービス（デイサービスなど）」は 64.6%と、前回（82.5%）を下回る結果となっています。また、「訪問介護サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が前回と同様 3 割台（30.8%、前回 35.9%）であるのに対し、「短期入所（ショートステイ）」（72.3%）や「通所サービス（デイサービスなど）」（64.6%）は 6 割～7 割台と、前回と同様、多く利用されていることがわかります。（問 5）

表 前回(平成 28 年度)と今回の比較表(性別・年齢構成・要介護度・住まい・家族構成(4区分))

(%)				
性別	(n)	男性	女性	無回答
今回調査	149	35.6	59.7	4.7
平成28年度調査	179	31.8	62.6	5.6

(%)								
年齢構成	(n)	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90歳以上	無回答
今回調査	149	2.7	10.1	10.7	20.1	14.8	36.9	4.7
		前期高齢者		後期高齢者				
		12.8		82.6				
平成28年度調査	179	3.9	10.1	12.3	13.4	23.5	31.3	5.6
		前期高齢者		後期高齢者				
		14.0		80.5				

(%)								
要介護度	(n)	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	無回答
今回調査	149	3.4	9.4	36.9	22.1	23.5	0.0	4.7
平成28年度調査	179	6.7	12.3	24.6	15.6	16.8	1.1	22.9

(%)						
住まい	(n)	持ち家	民間賃貸住宅	公営賃貸住宅 (UR、公社等 を含む)	その他	無回答
今回調査	149	70.5	6.7	6.7	8.1	8.1
平成28年度調査	179	66.5	11.2	5.6	9.5	7.3

(%)						
家族構成(4区分)	(n)	一人暮らし	夫婦二人 暮らし	その他の同居 世帯	その他(施設 入居など)	無回答
今回調査	149	8.1	5.4	28.2	51.0	7.4
平成28年度調査	179	16.2	11.2	45.3	21.2	6.1

## (2) 介護保険サービスについて

- 平成27年4月1日以降、特別養護老人ホームに新たに入所する方について、原則要介護度3以上に限定することとなったこともあり、現在の要介護度は、「要介護3～5」が82.5%と、前回(57.0%)に比べて約25ポイント上回っています。なお、要介護3(36.9%)は、前回(24.6%)と同様、入所希望者の中で最も多くなっています。(問7)
- 介護が必要となった原因は、「認知症(アルツハイマー病等)」が43.0%で前回(52.0%)に比べて約10ポイント下回ったものの、前回同様に最も多く、認知症予防施策の一層の推進が求められていると言えます。また、「骨折・転倒」も前回同様に約2割(22.1%)となっていることから、健康なうちに多くの高齢者が介護予防やフレイル対策に取り組むことが重要と言えます。(問8)
- 現在受けている医療・処置は、「特になし」が約6割(56.4%)である一方で、約3割(32.9%)が何らかの医療・処置を必要としており、今後、入所希望者の高齢化に伴う重度化が予想される中で、処置等に対応した特別養護老人ホームの在り方について検討していく必要があると言えます。(問9)
- 入所希望者本人の入所についての考えは、「在宅でなく、施設への入所が望ましい」が35.6%と最も多く、前回(29.1%)に比べて施設入所を望ましいととらえる割合が増えています。(問10)
- 安心して在宅生活をするために希望するサービスは、「医師の訪問診療(内科、歯科、神経科、精神科など)」が約5割(47.0%)である一方、日常生活の世話や、相談や話し相手などの希望は約1割であり、介護保険外のサービスよりもショートステイ、訪問介護などの介護保険サービス(在宅サービス)や在宅医療の需要が高くなっており、傾向は前回と変わらないことがわかりました。(問11)

## (3) 介護について

- 介護保険料の負担感は、「負担であるが、支払うことは可能」が約7割(68.5%)であり、介護保険料やサービス利用料の負担が大きくなる中でも、今後さらに充実を望む介護保険サービスとして「施設サービス(特別養護老人ホームなど)」が約6割(61.7%)と他の項目(訪問サービスや短期入所など)が約1割であるのに比べて最も多くなっています。特別養護老人ホームの整備に関する考えとしても、「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が前回と同様、約6割(64.4%、前回63.1%)を占めています。(問12～14)
- 特別養護老人ホーム以外に今後利用してもよいサービスは、「特別養護老人ホーム以外は利用したくない」が約3割(31.5%)と最も多くなっていますが、前回(43.6%)に比べて約12ポイントと大きく下回っています。  
一方で、「介護療養型医療施設、介護医療院」(27.5%)や「介護老人保健施設」(20.8%)が前回(24.6%、17.9%)に比べてそれぞれ約3ポイント上回っています。(問15)

- 要介護度の変化は、「要介護度は上がった(悪化した)」が約4割(37.6%)と「変化していない」(42.3%)の次に多くなっており、特別養護老人ホームに入所の申し込みをした理由も「御本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから」が約5割(53.7%)と最も多くなっています。なお、「家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが厳しいから」も同じく約5割(45.0%)となっており、特別養護老人ホームに入所したい時期については、「今すぐに入所したい」が前回(33.0%)と同様、約3割(32.2%)となっています。  
 一方で、特別養護老人ホームに入所の申し込みをした理由では、「すぐには入所ができないので、早めに申し込んでおきたいから」も約4割(41.6%)あり、現状、今すぐに入所を必要としていない人の申し込みが一定数あることがうかがえます。このことは、入所したい時期について、「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」が約4割(38.9%)と最も多いことからわかります。(問17～20)

#### (4) 中心介護者について

- 中心となって介護する方は、「息子・娘」が40.9%で最も多く、「配偶者」が18.1%で次いでおり、それぞれ前回調査結果と同様の割合(38.5%、20.7%)となっています。(問23)
- 主な介護者の介護の頻度をみると、「ほぼ毎日」が前回調査では約5割(52.5%)を占めていましたが、自宅または家族等の家にいる入所希望者の割合が前回に比べて10ポイント以上減少していることが影響しているためか、今回は約3割(29.5%)と約20ポイント減少しています。一方、中心となる介護者の負担や悩みについては、前回(64.3%)を約4ポイント下回っているものの、約6割(59.7%)が『負担や悩みを感じている』としています。主な介護者の特別養護老人ホームへの入所についての考えも、「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所させるしかない」(25.5%)と「在宅でなく、施設への入所が望ましいと考えている」(24.2%)を合わせると約5割となっています。(問25～27)
- 中心介護者が充実を望むことは、「特別養護老人ホームなどの施設整備」が39.6%で最も多く、次いで「ヘルパーの訪問や通いのサービスなどの介護保険サービスの充実」が32.9%となっており、前回(48.0%、35.2%)に比べてそれぞれ減少したものの、介護保険サービスの施設サービス、在宅サービスの充実を望む主な介護者が多いことがうかがえます。(問28)

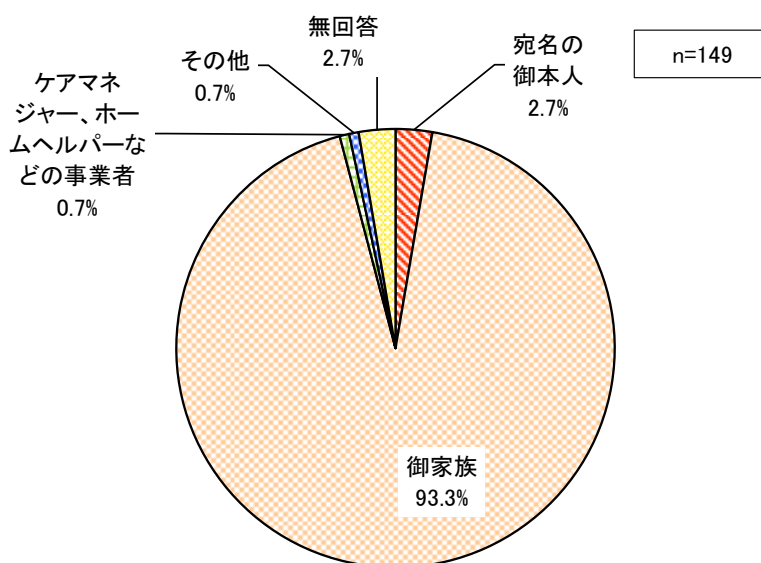
## 2 各設問の結果

### (1) 調査対象者の属性

問1 この調査票に御回答いただいているのは、どなたですか。(ひとつだけ○)

回答者は、「御家族」が93.3%と最も多くなっています。次いで、「宛名の御本人」が2.7%の順となっています。

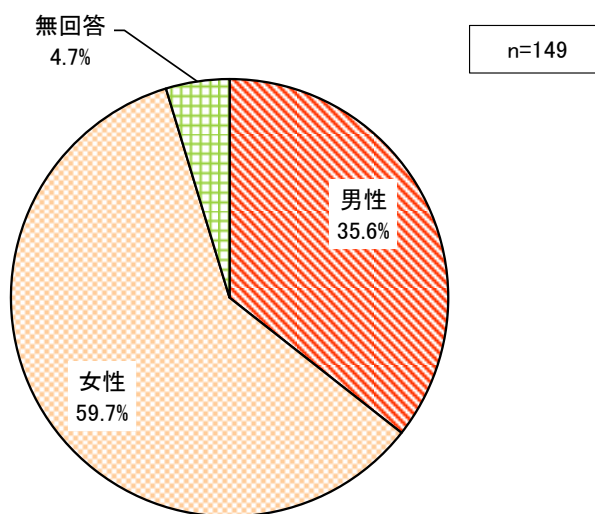
図表 6.1 回答者



問2 宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）の性別をお答えください。(ひとつだけ○)

性別は、「男性」が35.6%、「女性」が59.7%となっています。

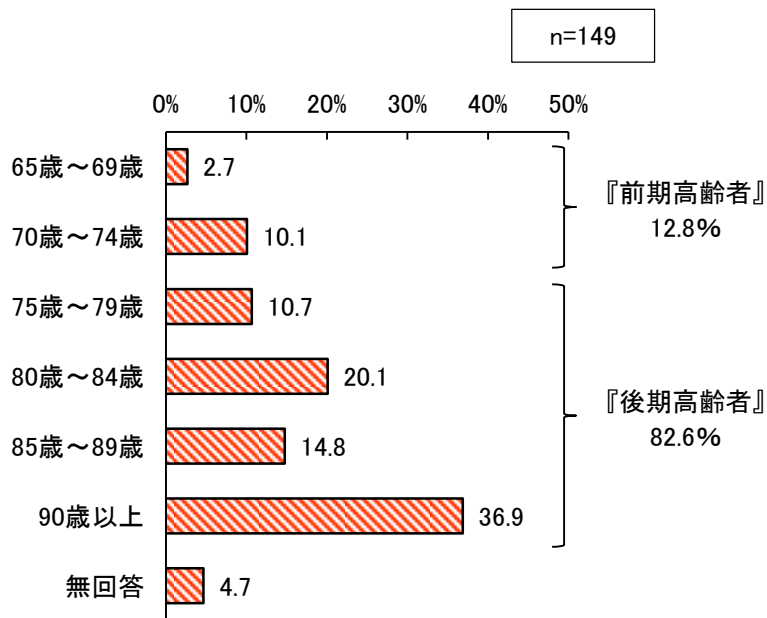
図表 6.2 性別



問3 宛名の御本人の令和元年11月1日現在の満年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

年齢は、「90歳以上」が36.9%と最も多くなっています。次いで、「80歳～84歳」が20.1%、「85歳～89歳」が14.8%、「75歳～79歳」が10.7%の順となっています。65歳～74歳の『前期高齢者』が約1割（12.8%）、75歳以上の『後期高齢者』が約8割（82.6%）となっています。

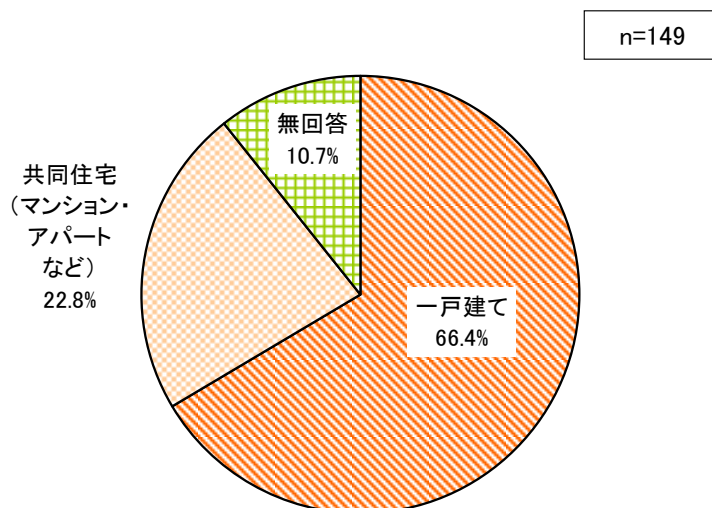
図表 6.3 年齢



問4 現在のお住まいについてうかがいます。(それぞれひとつだけ○)  
 (1) 一戸建て、または共同住宅のどちらですか。(2) お住まいは、次のうちどれですか。

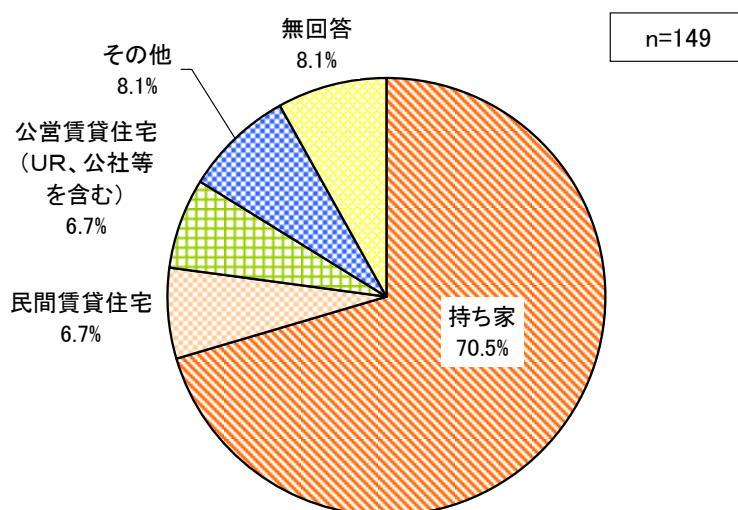
住宅の種類は、「一戸建て」が66.4%と多いのに対して、「共同住宅(マンション・アパートなど)」が22.8%と少なくなっています。

図表 6.4 住宅の種類



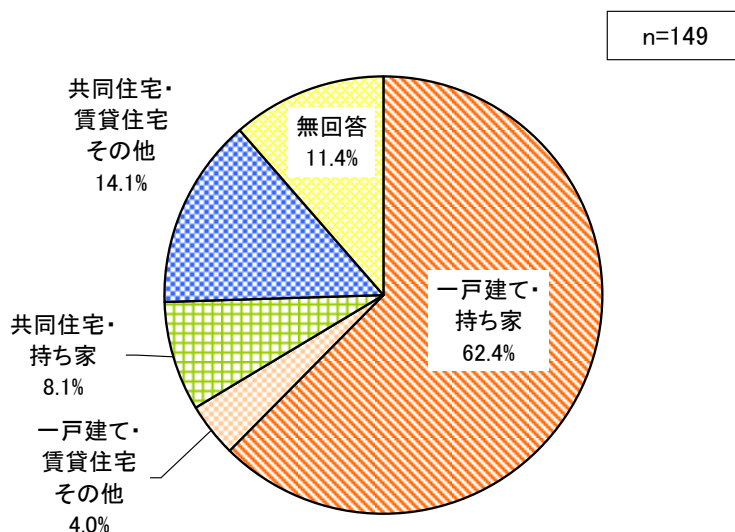
住宅の所有状況は、「持ち家」が70.5%と最も多くなっています。次いで、「民間賃貸住宅」と「公営賃貸住宅(UR、公社等を含む)」がそれぞれ6.7%の順となっています。

図表 6.5 住宅の所有状況



住居形態と所有形態を組み合わせた構成について、家族構成別でみると、『持ち家』（「一戸建て・持ち家」「共同住宅・持ち家」の合計）は「一人暮らし」（83.3%）と「その他の同居世帯」（85.7%）で8割台となっています。一方、「その他（施設入居など）」は他の家族構成と比べて、『持ち家』が約6割（61.9%）と低くなっています。

図表 6.6 住居形態・所有形態



		n	一戸建て・持ち家	の 一戸建て・賃貸住宅そ	共同住宅・持ち家	の 共同住宅・賃貸住宅そ	無回答	『持ち家』	『賃貸住宅』
(単位：%)									
TOTAL		149	62.4	4.0	8.1	14.1	11.4	70.5	18.1
家族構成	一人暮らし	12	75.0	0.0	8.3	16.7	0.0	83.3	16.7
	夫婦二人暮らし	8	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	75.0	25.0
	その他の同居世帯	42	76.2	4.8	9.5	9.5	0.0	85.7	14.3
	その他（施設入居など）	76	55.3	1.3	6.6	19.7	17.1	61.9	21.0

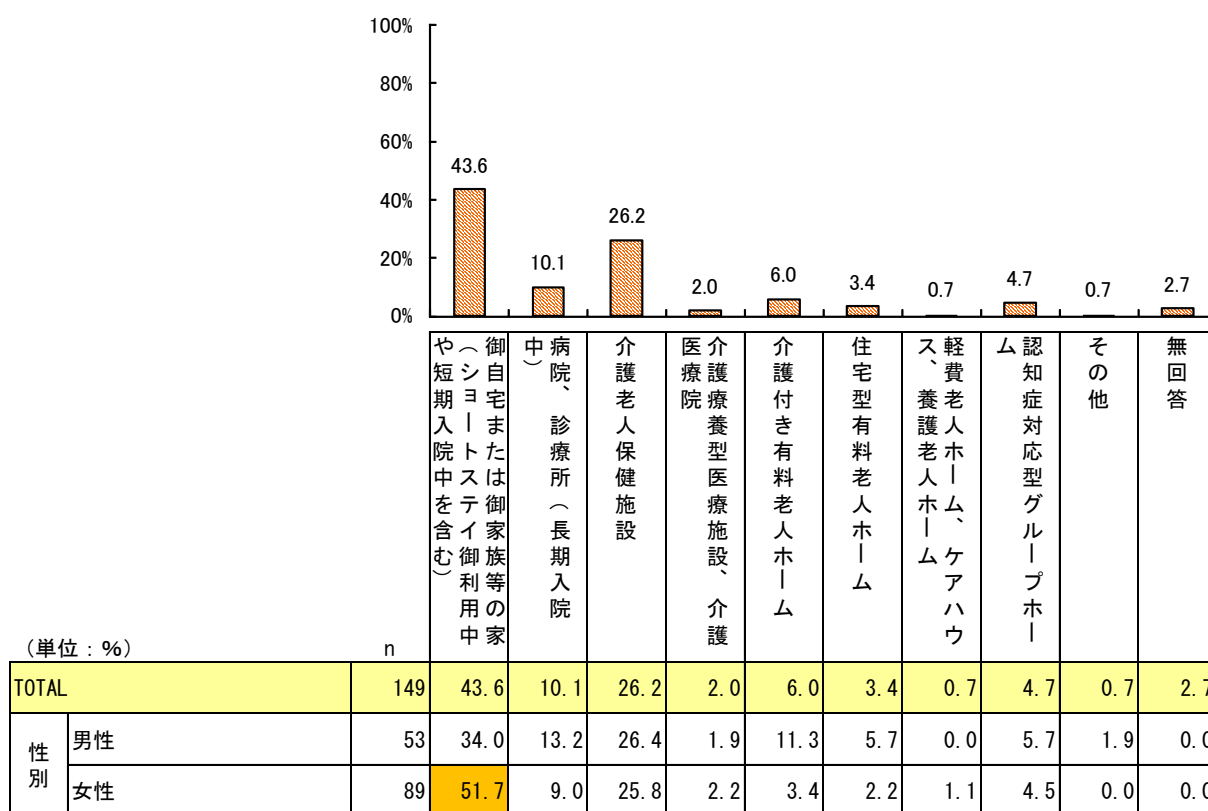
問5 現在のお住まいについてうかがいます。

(1) 宛名の御本人(特別養護老人ホーム待機者)は、現在どちらにいらっしゃいますか。(ひとつだけ○)

特別養護老人ホーム待機者の現在の生活場所は、「御自宅または御家族等の家(ショートステイ御利用中や短期入院中を含む)」が43.6%と最も多くなっています。次いで、「介護老人保健施設」が26.2%、「病院、診療所(長期入院)」が10.1%、「介護付き有料老人ホーム」が6.0%の順となっています。

性別では、「男性」に比べて「女性」のほうが「御自宅または御家族等の家(ショートステイ御利用中や短期入院中を含む)」で15ポイント以上、大きく上回っています。

図表 6.7 現在の生活場所



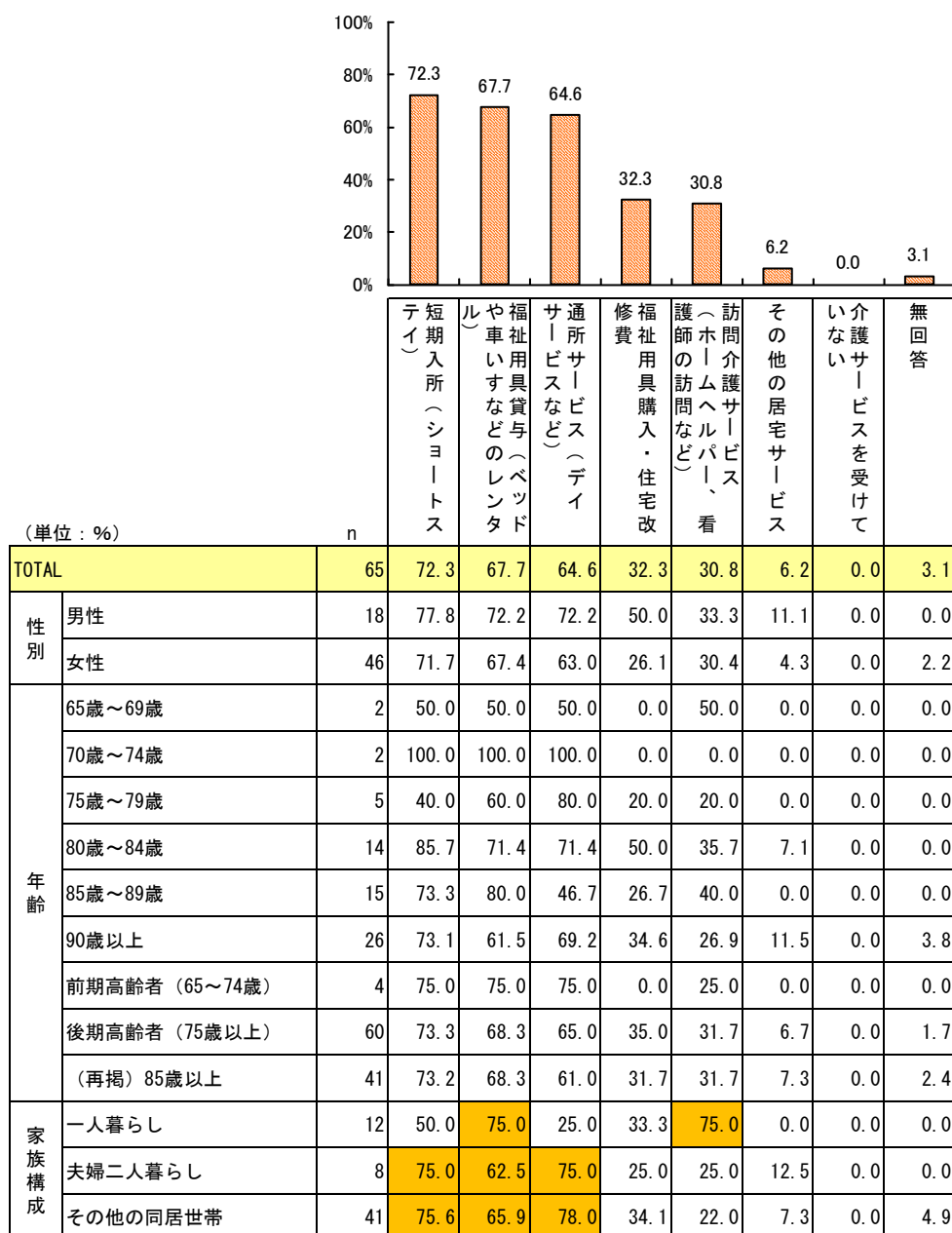


問5 (2)(1)で1(御自宅または御家族などの家)に○をつけた方にうかがいます。現在、在宅の介護保険サービスは、どのようなものを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

現在利用している在宅の介護保険サービスは、「短期入所(ショートステイ)」が72.3%と最も多くなっています。次いで、「福祉用具貸与(ベッドや車いすなどのレンタル)」が67.7%、「通所サービス(デイサービスなど)」が64.6%の順となっています。

家族構成別では、「一人暮らし」は「訪問介護サービス(ホームヘルパー、看護師の訪問など)」と「福祉用具貸与(ベッドや車いすなどのレンタル)」がそれぞれ75.0%と最も多くなっています。「夫婦二人暮らし」、「その他の同居世帯」では「通所サービス(デイサービスなど)」、「短期入所(ショートステイ)」、「福祉用具貸与(ベッドや車いすなどのレンタル)」が約6~8割と多くなっています。

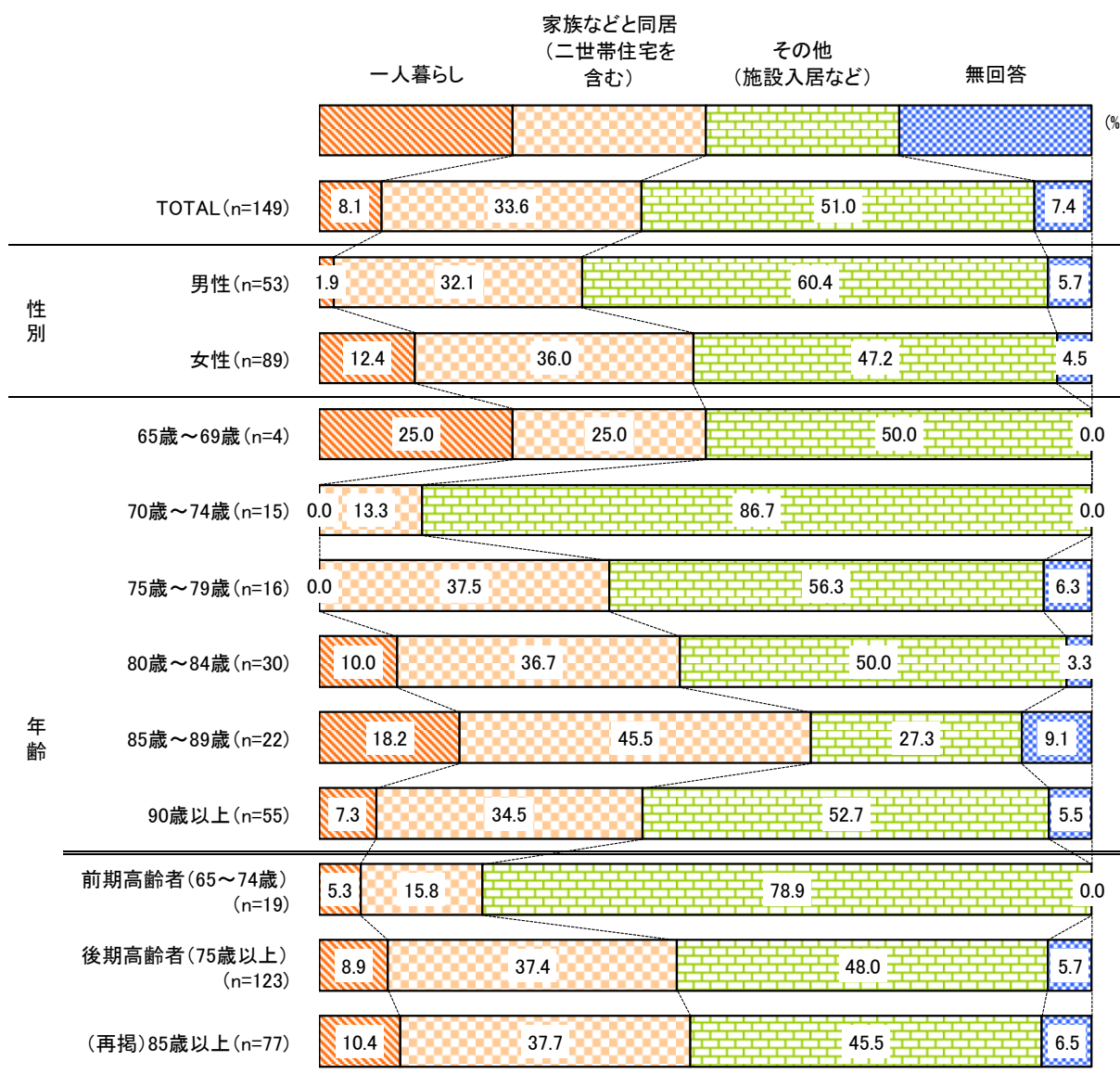
図表 6.8 現在利用している在宅の介護保険サービス



問6 現在の家族構成を、以下の中からお答えください。(ひとつだけ○)

現在の家族構成は、「一人暮らし」が8.1%、「家族などと同居(二世帯住宅を含む)」が33.6%、「その他(施設入居など)」が51.0%となっています。

図表 6.9 現在の家族構成

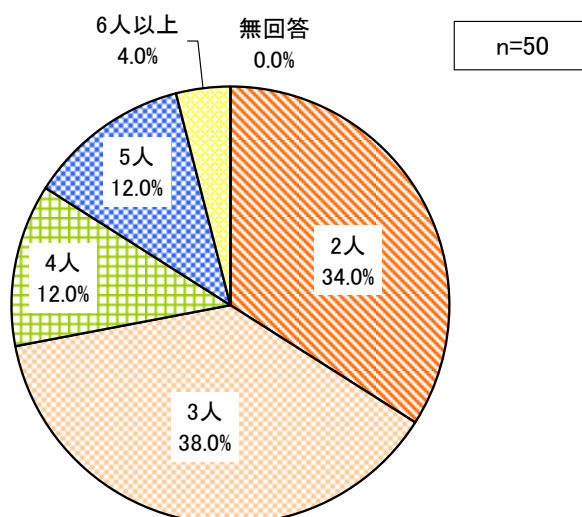


問 6-1 問6で2（家族など同居）に○をつけた方にうかがいます。御自分を含めて何人で暮らしていますか。また、同居されている方はどなたですか。

(1) 同居人数（自分を含む） (2) 同居者（あてはまるものすべてに○）

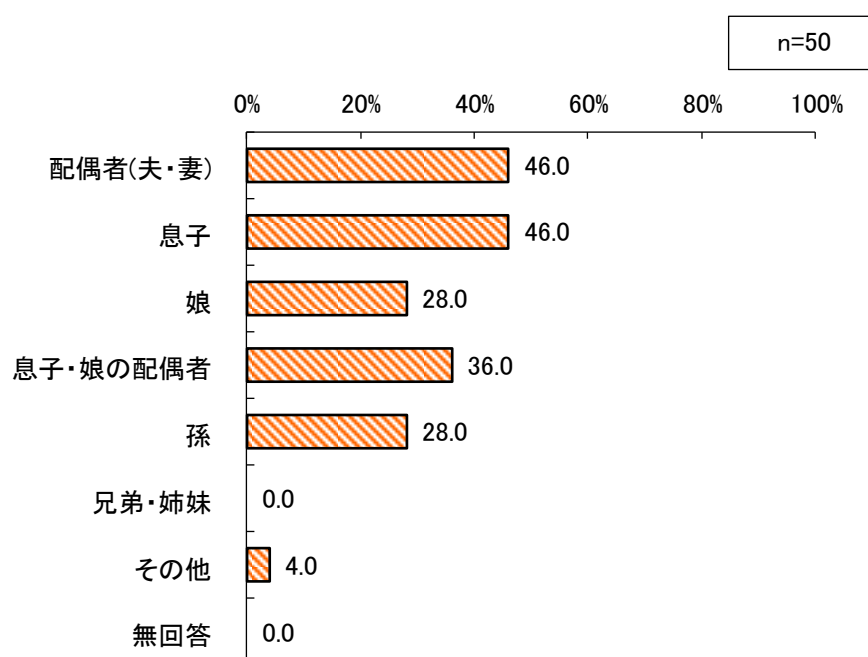
同居者数は、「3人」が38.0%と最も多くなっています。次いで、「2人」が34.0%、「4人」と「5人」がそれぞれ12.0%の順となっています。

図表 6.10 同居者数



現在の同居者は、「配偶者(夫・妻)」と「息子」がそれぞれ46.0%と最も多くなっています。次いで、「息子・娘の配偶者」が36.0%、「娘」と「孫」がそれぞれ28.0%の順となっています。

図表 6.11 現在の同居者



第6章 特別養護老人ホーム入所希望者調査結果

家族構成のうち、「家族などと同居（二世帯住宅を含む）」について、同居者数、同居者の続柄を踏まえて、改めて整理し直し、家族構成を4区分に分類したものをみると、「その他（施設入居など）」が51.0%と最も多くなっています。次いで、「その他の同居世帯」が28.2%、「一人暮らし」が8.1%、「夫婦二人暮らし」が5.4%の順となっています。

性別では、「一人暮らし」は「男性」より「女性」のほうが、一方で、「その他（施設入居など）」は「女性」より「男性」のほうがそれぞれ10ポイント以上、大きく上回っています。

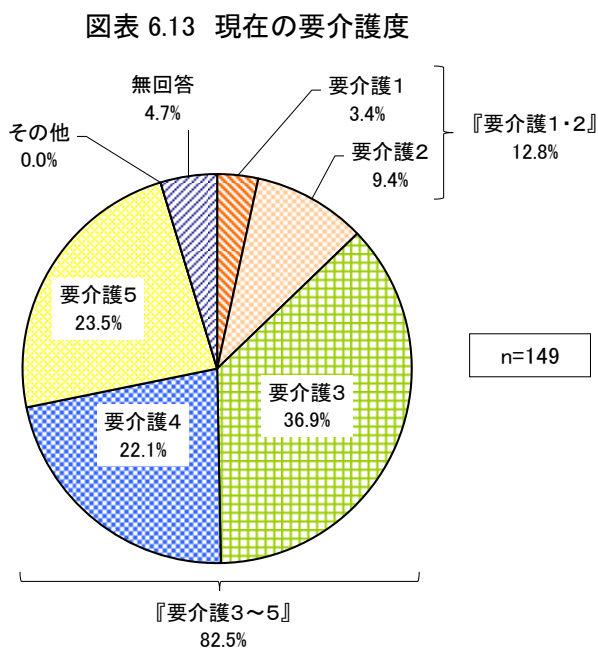
図表 6.12 家族構成(4区分)

		n	一人暮らし	夫婦二人暮らし	その他の同居世帯	その他（施設入居など）	無回答
(単位：%)							
TOTAL		149	8.1	5.4	28.2	51.0	7.4
性別	男性	53	1.9	7.5	24.5	60.4	5.7
	女性	89	12.4	4.5	31.5	47.2	4.5
年齢	65歳～69歳	4	25.0	0.0	25.0	50.0	0.0
	70歳～74歳	15	0.0	6.7	6.7	86.7	0.0
	75歳～79歳	16	0.0	12.5	25.0	56.3	6.3
	80歳～84歳	30	10.0	13.3	23.3	50.0	3.3
	85歳～89歳	22	18.2	4.5	40.9	27.3	9.1
	90歳以上	55	7.3	0.0	34.5	52.7	5.5
	前期高齢者（65～74歳）	19	5.3	5.3	10.5	78.9	0.0
	後期高齢者（75歳以上）	123	8.9	5.7	31.7	48.0	5.7
	（再掲）85歳以上	77	10.4	1.3	36.4	45.5	6.5

(2) 介護保険サービスについて

問7 宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）の令和元年11月1日現在の要介護度をお選びください。（ひとつだけ○）

現在の要介護度は、「要介護3」が36.9%と最も多くなっています。次いで、「要介護5」が23.5%、「要介護4」が22.1%、「要介護2」が9.4%の順となっています。『要介護1・要介護2』は12.8%、『要介護3～5』は82.5%となっています。



## 第6章 特別養護老人ホーム入所希望者調査結果

性別では、男性も女性も「要介護3」が最も多く、次いで「要介護5」と「要介護4」がそれぞれ2割台となっています。

家族構成別では、家族構成4区分すべてで「要介護3」が多くなっています。

図表 6.14 現在の要介護度

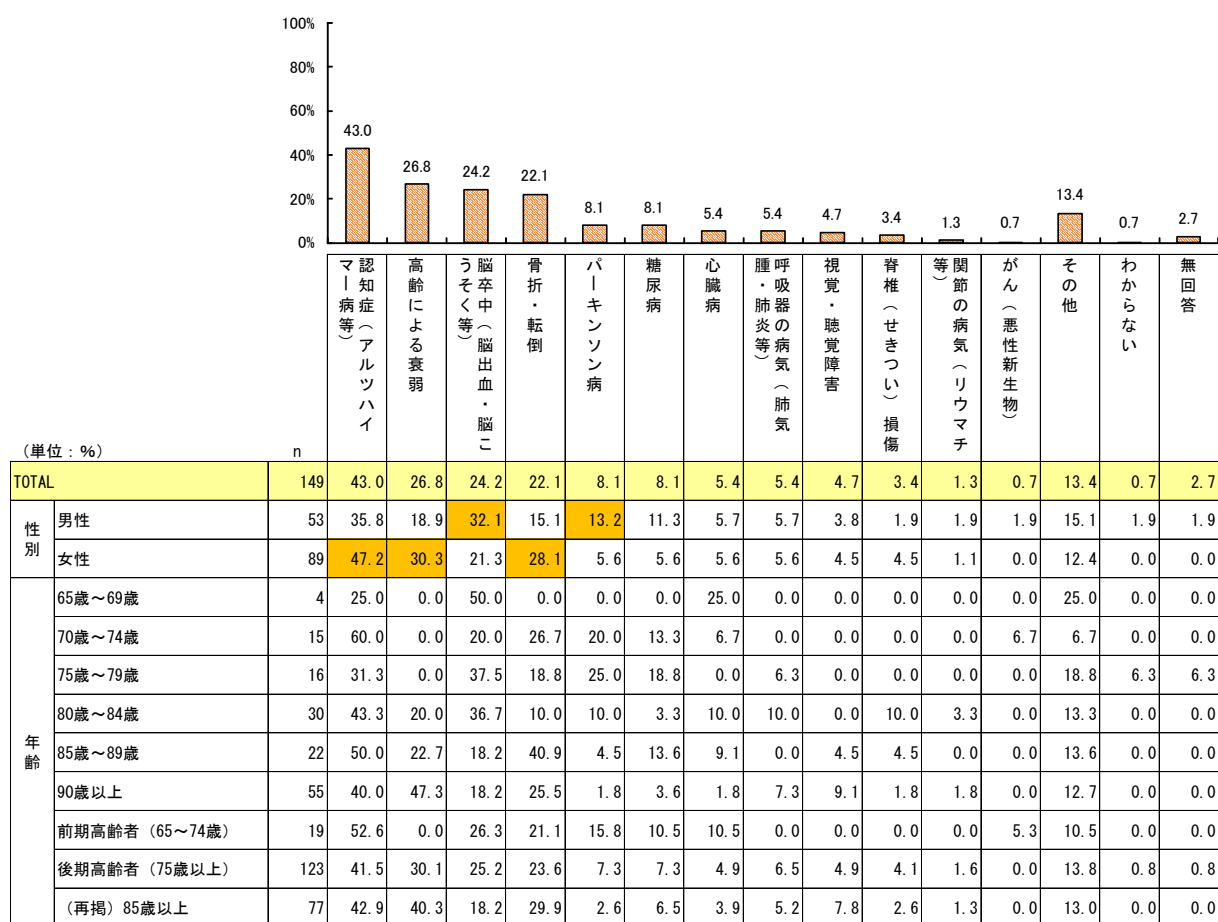
		n	要 介 護 1	要 介 護 2	要 介 護 3	要 介 護 4	要 介 護 5	そ の 他	無 回 答
(単位：%)									
TOTAL		149	3.4	9.4	36.9	22.1	23.5	0.0	4.7
性別	男性	53	3.8	9.4	30.2	24.5	26.4	0.0	5.7
	女性	89	3.4	10.1	42.7	20.2	22.5	0.0	1.1
年齢	65歳～69歳	4	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0	25.0
	70歳～74歳	15	0.0	13.3	13.3	40.0	33.3	0.0	0.0
	75歳～79歳	16	6.3	18.8	37.5	6.3	25.0	0.0	6.3
	80歳～84歳	30	3.3	6.7	36.7	30.0	23.3	0.0	0.0
	85歳～89歳	22	9.1	4.5	40.9	18.2	18.2	0.0	9.1
	90歳以上	55	1.8	10.9	45.5	20.0	21.8	0.0	0.0
	前期高齢者(65～74歳)	19	0.0	10.5	15.8	31.6	36.8	0.0	5.3
	後期高齢者(75歳以上)	123	4.1	9.8	41.5	20.3	22.0	0.0	2.4
	(再掲) 85歳以上	77	3.9	9.1	44.2	19.5	20.8	0.0	2.6
家族構成	一人暮らし	12	8.3	8.3	58.3	8.3	16.7	0.0	0.0
	夫婦二人暮らし	8	0.0	0.0	37.5	25.0	37.5	0.0	0.0
	その他の同居世帯	42	4.8	11.9	38.1	21.4	21.4	0.0	2.4
	その他(施設入居など)	76	2.6	9.2	31.6	26.3	27.6	0.0	2.6

問8 宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）が介護が必要になった原因は何ですか。  
（あてはまるものすべてに○）

介護が必要となった原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」が43.0%と最も多くなっています。次いで、「高齢による衰弱」が26.8%、「脳卒中（脳出血、脳こうそく等）」が24.2%、「骨折・転倒」が22.1%の順となっています。

性別では、「男性」は「女性」より「脳卒中（脳出血・脳こうそく等）」、「パーキンソン病」などが高く、「女性」は「男性」より「認知症（アルツハイマー病等）」、「高齢による衰弱」、「骨折・転倒」などが高くなっています。

図表 6.15 介護が必要になった原因



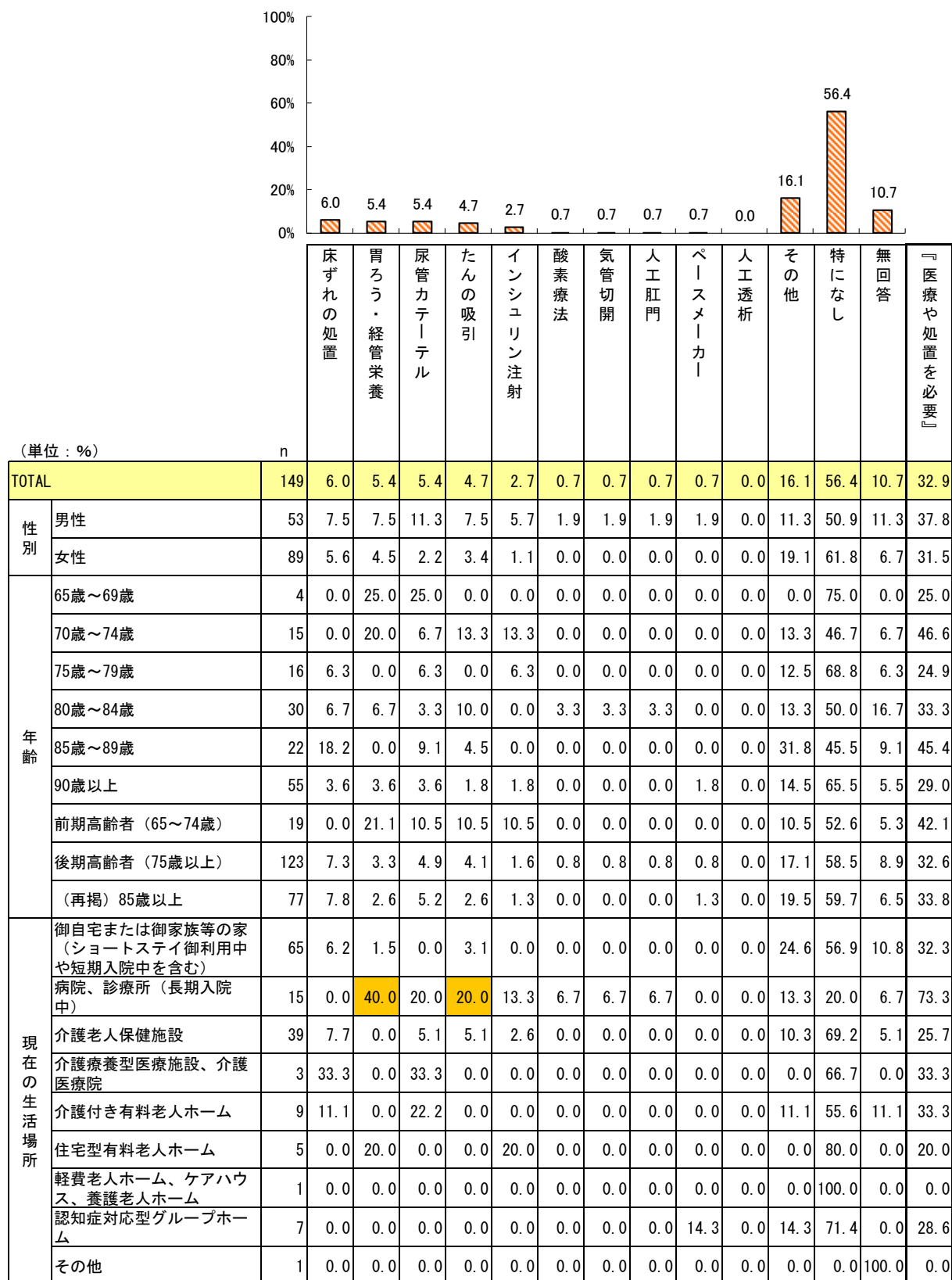
問9 宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）は、現在受けている医療や処置はありますか。（あてはまるものすべてに○）

現在受けている医療・処置は、「床ずれの処置」が6.0%と最も多くなっています。次いで、「胃ろう・経管栄養」と「尿管カテーテル」がそれぞれ5.4%、次いで、「たんの吸引」が4.7%、「インシュリン注射」が2.7%の順となっており、『医療や処置を必要』（「特になし」「無回答」を除いた割合）は、32.9%となっています。

現在の生活場所別では、「病院、診療所（長期入院中）」は「胃ろう・経管栄養」、「たんの吸引」などが、他の生活場所より高くなっています。



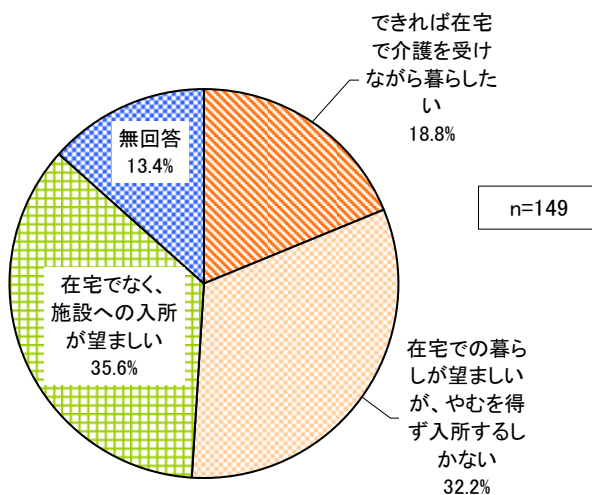
図表 6.16 現在受けている医療・処置



問10 宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）は、入所についてどのように考えていますか。（ひとつだけ○）

入所についての考えは、「在宅でなく、施設への入所が望ましい」が35.6%と最も多くなっています。次いで、「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所するしかない」が32.2%、「できれば在宅で介護を受けながら暮らしたい」が18.8%の順となっています。

図表 6.17 入所についての考え



現在の生活場所でみると、「御自宅または御家族等の家（ショートステイ御利用中や短期入院中を含む）」は「できれば在宅で介護を受けながら暮らしたい」が32.3%で最も多くなっています。

一方、「病院、診療所（長期入院中）」や「介護老人保健施設」では、「在宅でなく、施設への入所が望ましい」、「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所するしかない」で3割～4割台と高くなっています。

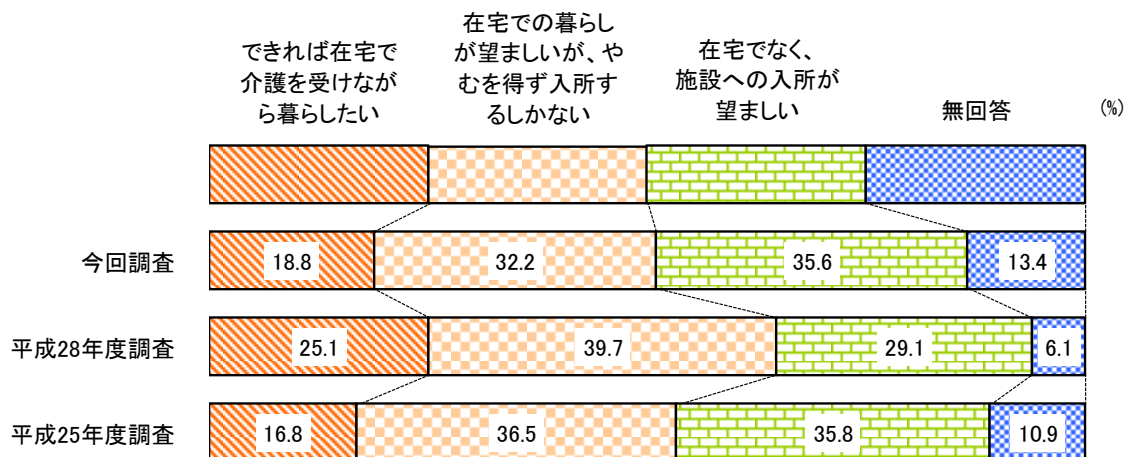
図表 6.18 入所についての考え

		n	受 け な げ ら ば 在 宅 で 介 護 を	所 し が し か な い	在 宅 で の 暮 ら し が 望 ま い	入 所 が 望 ま し い	在 宅 で な く、 施 設 へ の	無 回 答
(単位：%)								
TOTAL		149	18.8	32.2	35.6	13.4		
性別	男性	53	18.9	34.0	30.2	17.0		
	女性	89	20.2	33.7	39.3	6.7		
現在の生活場所	御自宅または御家族等の家（ショートステイ御利用中や短期入院中を含む）	65	32.3	29.2	29.2	9.2		
	病院、診療所（長期入院中）	15	13.3	33.3	33.3	20.0		
	介護老人保健施設	39	7.7	38.5	43.6	10.3		
	介護療養型医療施設、介護医療院	3	33.3	0.0	66.7	0.0		
	介護付き有料老人ホーム	9	0.0	33.3	55.6	11.1		
	住宅型有料老人ホーム	5	0.0	20.0	60.0	20.0		
	軽費老人ホーム、ケアハウス、養護老人ホーム	1	0.0	100.0	0.0	0.0		
	認知症対応型グループホーム	7	14.3	57.1	28.6	0.0		
	その他	1	0.0	0.0	0.0	100.0		

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「できれば在宅で介護を受けながら暮らしたい」と「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所するしかない」が減少し、「在宅でなく、施設への入所が望ましい」が増加しています。

図表 6.19 入所についての考え

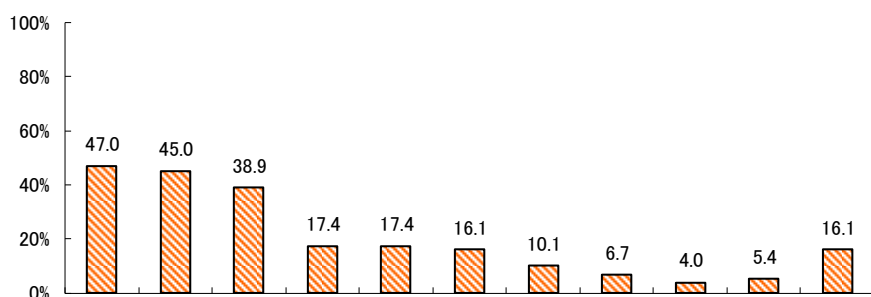


問 11 宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）は、安心して在宅生活をするために、どのようなサービスがあればよいと思いますか。（主なもの3つまで○）

安心して在宅生活をするために希望するサービスは、「医師の訪問診療（内科、歯科、神経科、精神科など）」が47.0%と最も多くなっています。次いで、「急な宿泊の希望に対応できるショートステイ」が45.0%、「24時間対応可能な自宅への訪問介護や訪問看護」が38.9%、「障がいや医療への対応ができるデイサービス」と「希望により宿泊もできるデイサービス」がそれぞれ17.4%の順となっています。

現在の生活場所別では、「御自宅または御家族等の家（ショートステイ御利用中や短期入院中を含む）」は「急な宿泊の希望に対応できるショートステイ」（66.2%）、「医師の訪問診療（内科、歯科、神経科、精神科など）」（55.4%）、「希望により宿泊もできるデイサービス」（30.8%）などで他の生活場所と比べて割合が高い傾向がみられます。

図表 6.20 安心して在宅生活をするために希望するサービス



(単位：%)

		n	科、医師の訪問診療（内科、歯科、神経科、精神科など）	急な宿泊の希望に対応できるショートステイ	24時間対応可能な自宅への訪問介護や訪問看護	障がいや医療への対応ができるデイサービス	希望により宿泊もできるデイサービス	通所希望に柔軟に対応できるデイサービス	活の世話、通院介助などの日常生活	配食や買い物支援、ゴミ出しサービス	相談や話し相手などの訪問サービス	その他	特になし	無回答
TOTAL		149	47.0	45.0	38.9	17.4	17.4	16.1	10.1	6.7	4.0	5.4	16.1	
現在の生活場所	御自宅または御家族等の家（ショートステイ御利用中や短期入院中を含む）	65	55.4	66.2	36.9	9.2	30.8	26.2	10.8	3.1	3.1	3.1	3.1	
	病院、診療所（長期入院中）	15	53.3	20.0	46.7	40.0	6.7	6.7	6.7	6.7	13.3	6.7	20.0	
	介護老人保健施設	39	35.9	35.9	41.0	23.1	5.1	7.7	10.3	12.8	5.1	7.7	23.1	
	介護療養型医療施設、介護医療院	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	介護付き有料老人ホーム	9	33.3	33.3	55.6	33.3	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	0.0	33.3	
	住宅型有料老人ホーム	5	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	
	軽費老人ホーム、ケアハウス、養護老人ホーム	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	認知症対応型グループホーム	7	57.1	42.9	71.4	28.6	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	
	その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

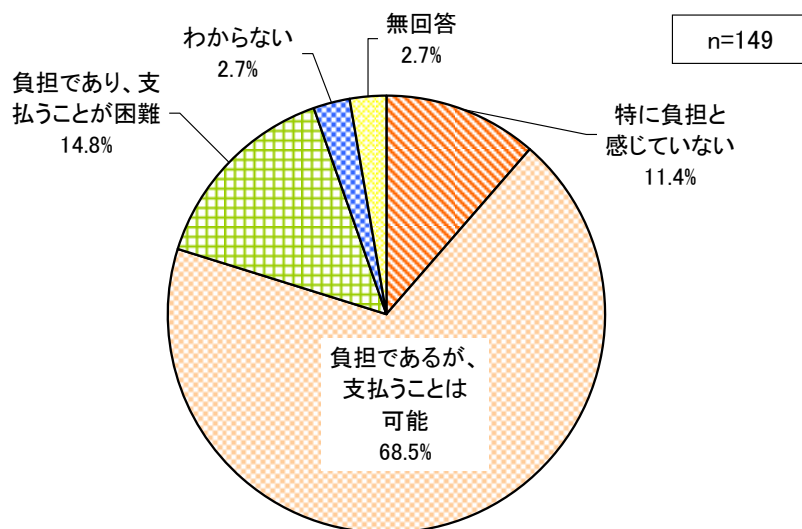
(3) 介護について

問12 介護保険の保険料について、どのように感じていますか。(ひとつだけ〇)

介護保険料については、「負担であるが、支払うことは可能」が68.5%、次いで、「負担であり、支払うことが困難」が14.8%、「特に負担と感じていない」が11.4%の順となっています。

家族構成別では、「一人暮らし」は「特に負担と感じていない」と「負担であり、支払うことが困難」がそれぞれ25.0%で、他の家族構成と比べて高くなっています。

図表 6.21 介護保険料の負担感



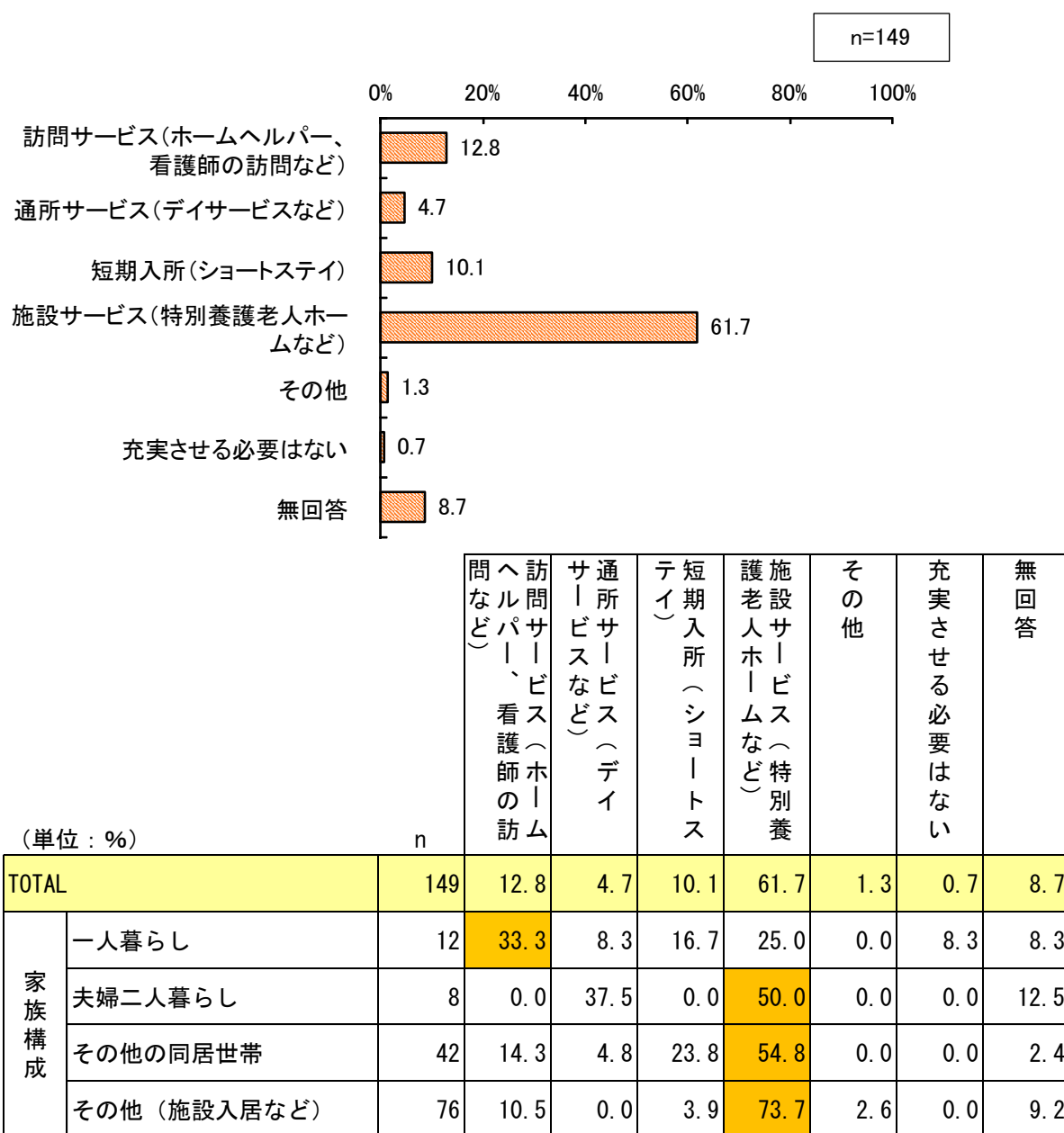
		n	特に負担と感じていない	負担であるが、支払うことは可能	負担であり、支払うことが困難	わからない	無回答
(単位：%)							
TOTAL		149	11.4	68.5	14.8	2.7	2.7
家族構成	一人暮らし	12	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	夫婦二人暮らし	8	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	その他の同居世帯	42	14.3	73.8	9.5	2.4	0.0
	その他（施設入居など）	76	10.5	64.5	18.4	3.9	2.6

問13 介護保険料やサービス利用料の負担が大きくなる中で、今後さらに充実させた方がよいと思う介護保険のサービスは次のうちどれですか。(ひとつだけ○)

今後さらに充実を望む介護保険サービスは、「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」が61.7%と最も多くなっています。次いで、「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」が12.8%、「短期入所（ショートステイ）」が10.1%の順となっています。

家族構成別においても、一人暮らし以外では「施設サービス（特別養護老人ホームなど）」の割合が、最も多くなっています。一方、「一人暮らし」は「訪問サービス（ホームヘルパー、看護師の訪問など）」（33.3%）が最も多くなっています。

図表 6.22 今後さらに充実を望む介護保険サービス

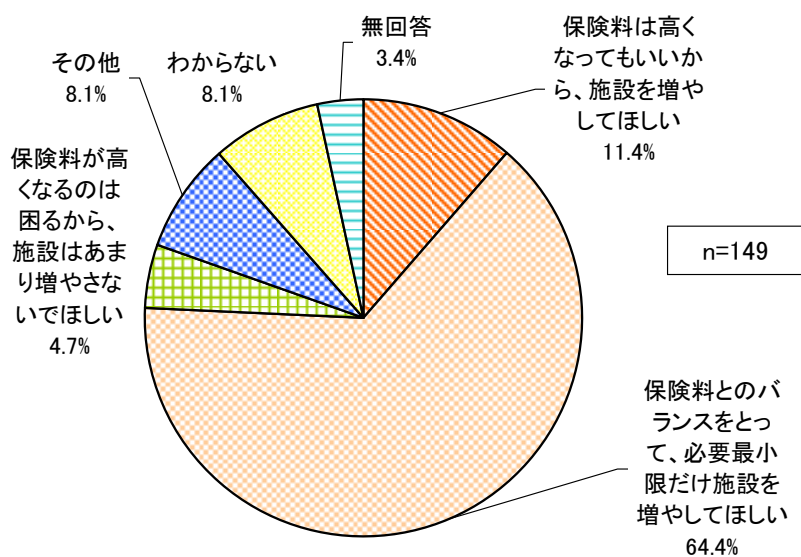


問14 特別養護老人ホームの整備に関するお考えに最も近いものをお答えください。  
(ひとつだけ○)

特別養護老人ホームの整備に関する考えは、「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が64.4%と最も多くなっています。次いで、「保険料は高くなっていいから、施設を増やしてほしい」が11.4%の順となっています。

家族構成別においても、それぞれ「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」が最も多くなっています。

図表 6.23 特別養護老人ホームの整備に関する考え



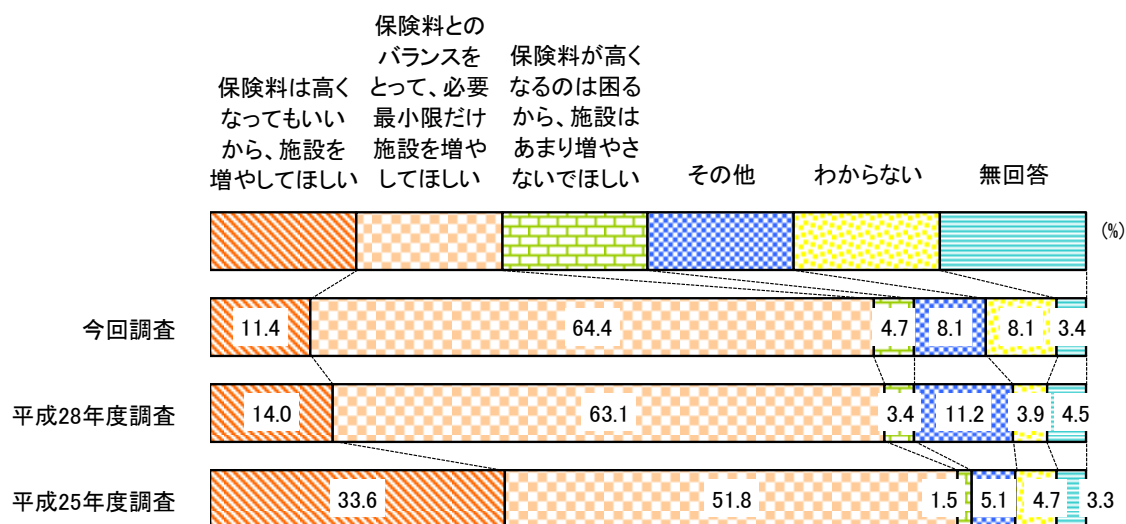
		ほい保 しから いら い	険料 は高 くし な つ て ほ し い	施 設 を 増 や し て ほ し い	と 必 要 な ら ば 最 小 限 に し て ほ し い	保 険 料 と の バ ラ ン ス を と っ て 、 必 要 最 小 限 だ け 施 設 を 増 や し て ほ し い	や さ か ら 、 施 設 が 高 く な る の は 困 る	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
(単位：%)		n									
TOTAL		149	11.4	64.4	4.7	8.1	8.1	3.4			
家 族 構 成	一人暮らし	12	0.0	91.7	0.0	0.0	8.3	0.0			
	夫婦二人暮らし	8	0.0	75.0	12.5	0.0	12.5	0.0			
	その他の同居世帯	42	16.7	64.3	2.4	4.8	9.5	2.4			
	その他（施設入居など）	76	9.2	63.2	6.6	11.8	6.6	2.6			



(経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」、「保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい」がわずかに増加し、「保険料は高くなっていいから、施設を増やしてほしい」がわずかに減少しています。

図表 6.24 特別養護老人ホームの整備に関する考え

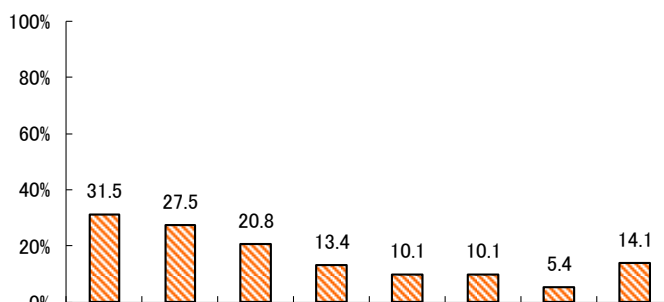


問 15 特別養護老人ホーム以外に、今後利用してもよいというサービスはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

特別養護老人ホーム以外に今後利用してもよいサービスをたずねたところ、「特別養護老人ホーム以外は利用したくない」が 31.5%と最も多くなっています。次いで、「介護療養型医療施設、介護医療院（入所して介護を含めた長期の療養を受ける施設）」が 27.5%、「介護老人保健施設（数か月入所して介護、看護、リハビリを受ける施設）」が 20.8%、「介護付き有料老人ホーム（入居してスタッフに介護を受けながら生活する住宅）」が 13.4%の順となっています。

家族構成別では、「その他の同居世帯」で「特別養護老人ホーム以外は利用したくない」(47.6%)が、他の家族構成と比べて高くなっています。

図表 6.25 特別養護老人ホーム以外に今後利用してもよいサービス

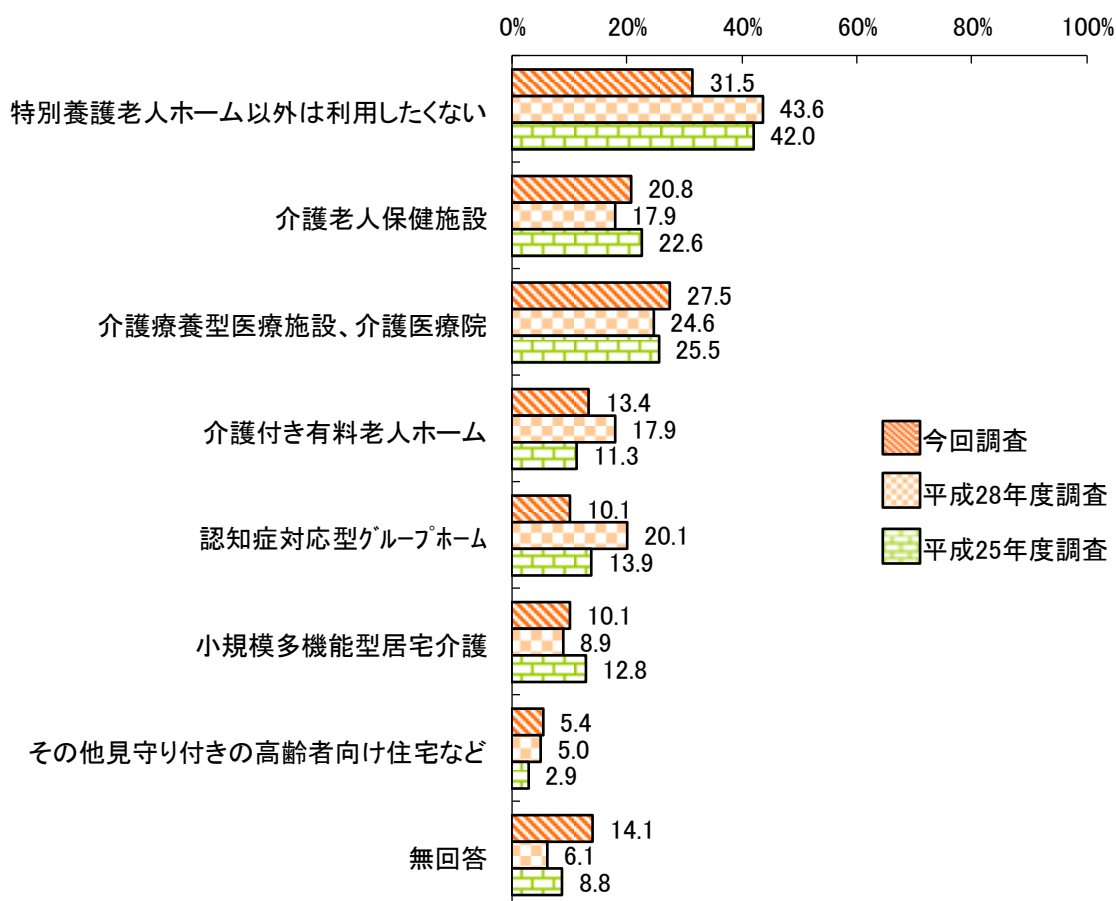


		n	特別養護老人ホーム以外は利用したくない (%)	介護療養型医療施設、介護医療院 (%)	介護老人保健施設 (%)	介護付き有料老人ホーム (%)	認知症対応型グループホーム (%)	小規模多機能型居宅介護 (%)	その他見守り付きの高層向け住宅など (%)	無回答 (%)
TOTAL		149	31.5	27.5	20.8	13.4	10.1	10.1	5.4	14.1
性別	男性	53	26.4	24.5	15.1	18.9	13.2	9.4	3.8	18.9
	女性	89	33.7	28.1	23.6	11.2	7.9	11.2	5.6	11.2
年齢	65歳～69歳	4	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0
	70歳～74歳	15	33.3	26.7	26.7	6.7	13.3	13.3	13.3	6.7
	75歳～79歳	16	31.3	12.5	12.5	31.3	12.5	25.0	0.0	18.8
	80歳～84歳	30	26.7	33.3	20.0	3.3	3.3	6.7	0.0	23.3
	85歳～89歳	22	45.5	18.2	4.5	13.6	18.2	9.1	4.5	9.1
	90歳以上	55	29.1	30.9	27.3	18.2	7.3	9.1	7.3	10.9
	前期高齢者（65～74歳）	19	26.3	26.3	26.3	5.3	15.8	10.5	10.5	10.5
	後期高齢者（75歳以上）	123	31.7	26.8	19.5	15.4	8.9	10.6	4.1	14.6
(再掲) 85歳以上		77	33.8	27.3	20.8	16.9	10.4	9.1	6.5	10.4
家族構成	一人暮らし	12	25.0	16.7	25.0	33.3	16.7	8.3	16.7	8.3
	夫婦二人暮らし	8	25.0	25.0	37.5	12.5	12.5	37.5	12.5	12.5
	その他の同居世帯	42	47.6	16.7	7.1	21.4	4.8	14.3	2.4	16.7
	その他（施設入居など）	76	25.0	35.5	25.0	6.6	11.8	6.6	3.9	11.8

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「特別養護老人ホーム以外は利用したくない」が減少し、特別養護老人ホーム以外の「介護療養型医療施設、介護医療院(入所して介護を含めた長期の療養を受ける施設)」や「介護老人保健施設(数か月入所して介護、看護、リハビリを受ける施設)」が増加しています。

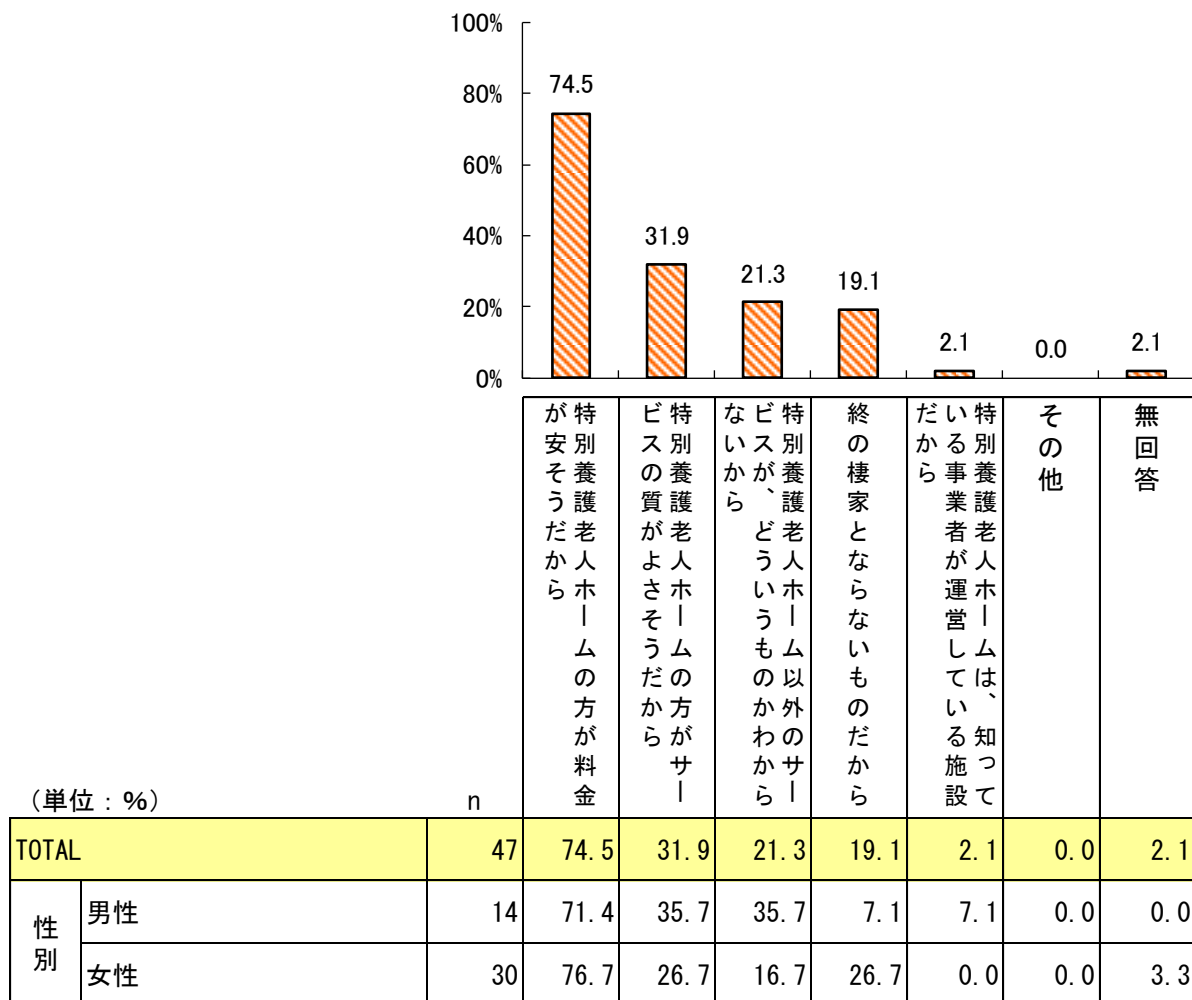
図表 6.26 特別養護老人ホーム以外に今後利用してもよいサービス



問 15-1 問 15 で 1 (特別養護老人ホーム以外は利用したくない) に○をつけた方にうかがいます。上記のサービスが特別養護老人ホームの代わりにならないと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

特別養護老人ホームの代わりにならないと思う理由をたずねたところ、「特別養護老人ホームの方が料金が安そうだから」が 74.5%と最も多くなっています。次いで、「特別養護老人ホームの方がサービスの質がよさそうだから」が 31.9%、「特別養護老人ホーム以外のサービスが、どういものかわからないから」が 21.3%、「終の棲家とならないものだから」が 19.1%の順となっています。

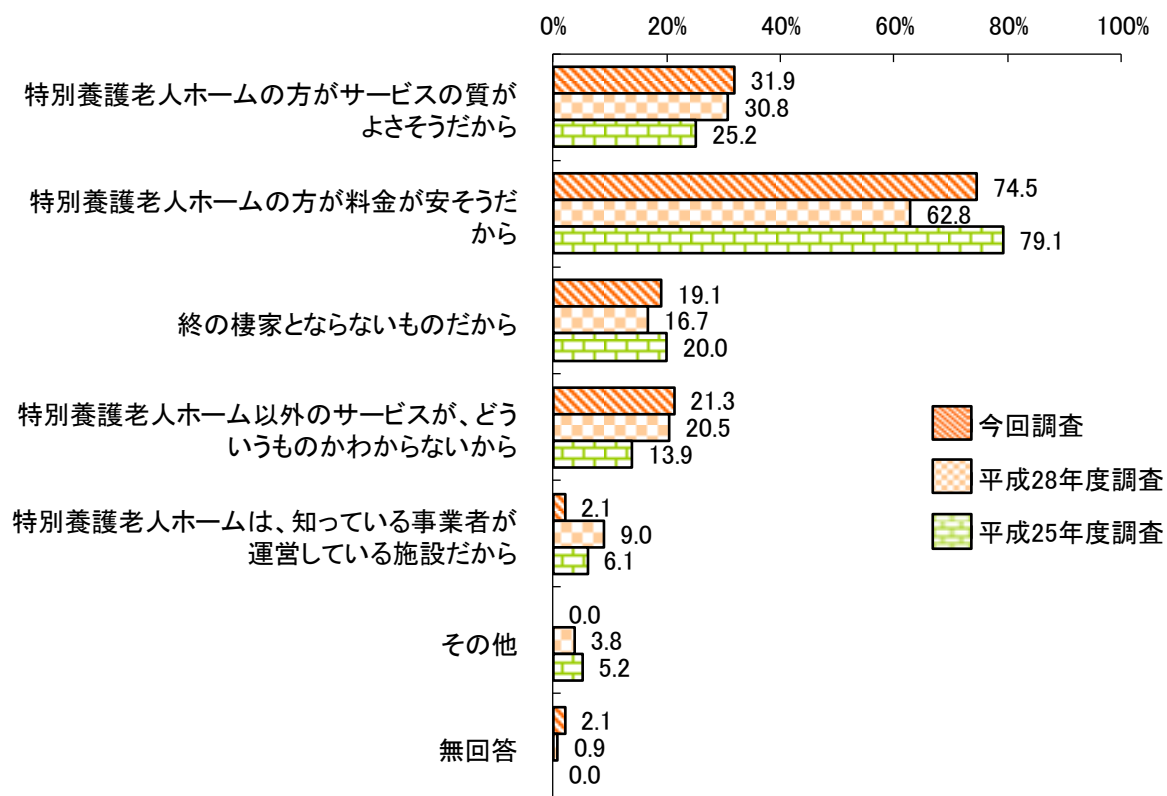
図表 6.27 特別養護老人ホームの代わりにならないと思う理由



(経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、「特別養護老人ホームの方が料金が安そうだから」が10ポイント以上増加しており、「特別養護老人ホームの方がサービスの質がよさそうだから」、「特別養護老人ホーム以外のサービスが、どういうものかわからないから」、「終の棲家とならないものだから」もわずかに増加しています。一方で、「特別養護老人ホームは、知っている事業者が運営している施設だから」は減少しています。

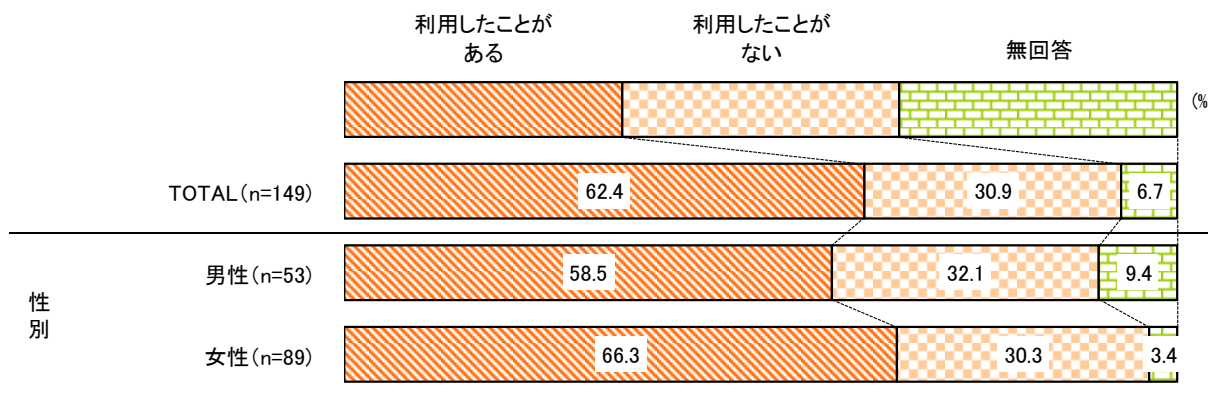
図表 6.28 特別養護老人ホームの代わりにならないと思う理由



問16 宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）について、短期入所（ショートステイ）を利用したことがありますか。（ひとつだけ○）

短期入所（ショートステイ）を利用したことがあるかたずねたところ、「利用したことがある」が62.4%、「利用したことがない」が30.9%となっています。

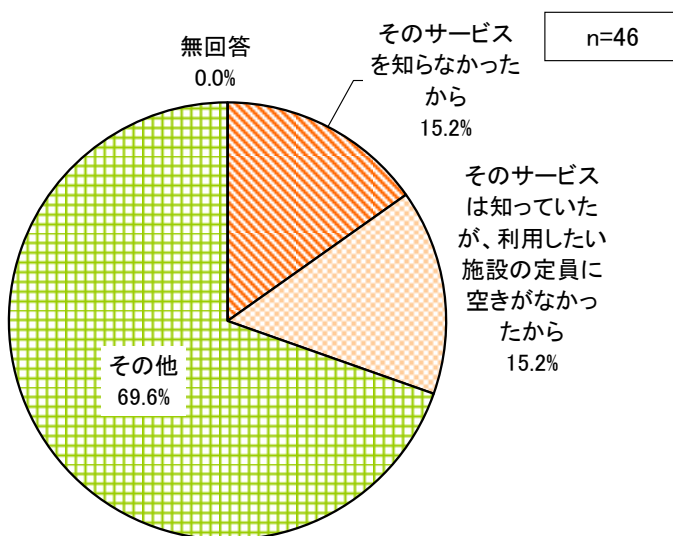
図表 6.29 短期入所(ショートステイ)を利用したことがあるか



問16-1 問16で2（利用したことがない）に○をつけた方にうかがいます。短期入所を利用したことがない理由は何ですか。（ひとつだけ○）

短期入所（ショートステイ）を利用したことがない理由をたずねたところ、「そのサービスを知らなかったから」と「そのサービスは知っていたが、利用したい施設の定員に空きがなかったから」がそれぞれ15.2%となっていて、差はみられません。

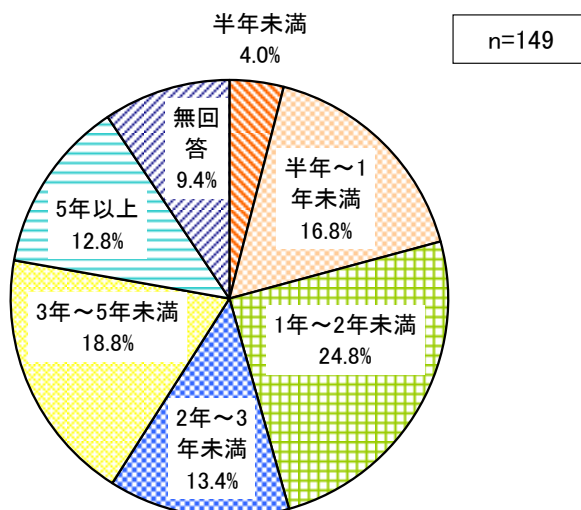
図表 6.30 短期入所(ショートステイ)を利用したことがない理由



問17 特別養護老人ホームに最初に申し込んだのはいつですか。(ひとつだけ○)

特別養護老人ホームに最初に申し込んだ時期は、「1年～2年未満」が24.8%と最も多くなっています。次いで、「3年～5年未満」が18.8%、「半年～1年未満」が16.8%、「2年～3年未満」が13.4%の順となっています。

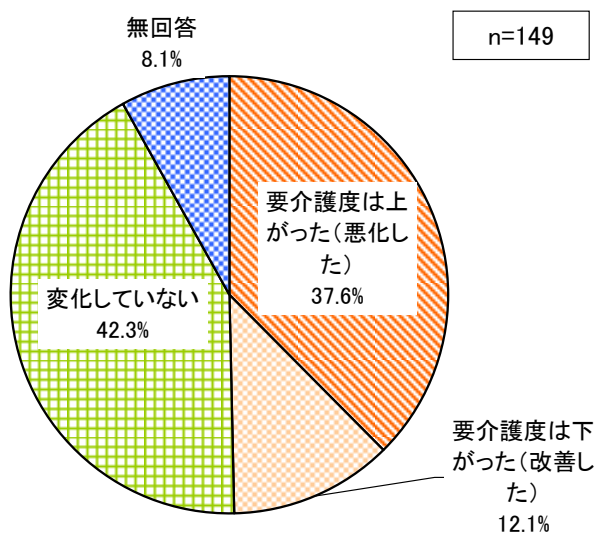
図表 6.31 特別養護老人ホームに最初に申し込んだ時期



問18 特別養護老人ホームに最初に申し込んだ時点と比較して、現在の宛名の御本人（特別養護老人ホーム待機者）の要介護度はどう変化しましたか。(ひとつだけ○)

要介護度の変化は、「変化していない」が42.3%と最も多くなっています。次いで、「要介護度は上がった(悪化した)」が37.6%、「要介護度は下がった(改善した)」が12.1%の順となっています。

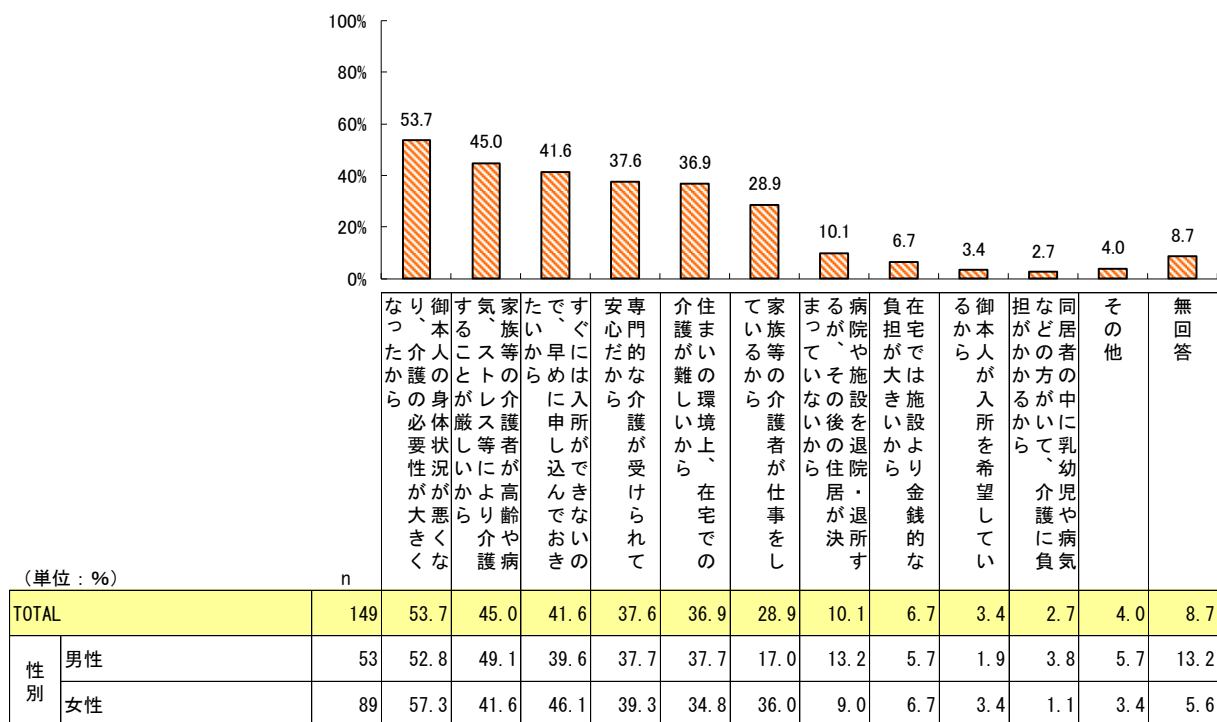
図表 6.32 特別養護老人ホームに最初に申し込んだ時点と比較しての要介護度変化



問19 特別養護老人ホームに入所の申し込みをした理由は何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○をし、最も大きな理由ひとつに◎をしてください。)

特別養護老人ホームに入所の申し込みをした理由は、「御本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから」が 53.7%と最も多くなっています。次いで、「家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが厳しいから」が 45.0%、「すぐには入所ができないので、早めに申し込んでおきたいから」が 41.6%の順となっています。

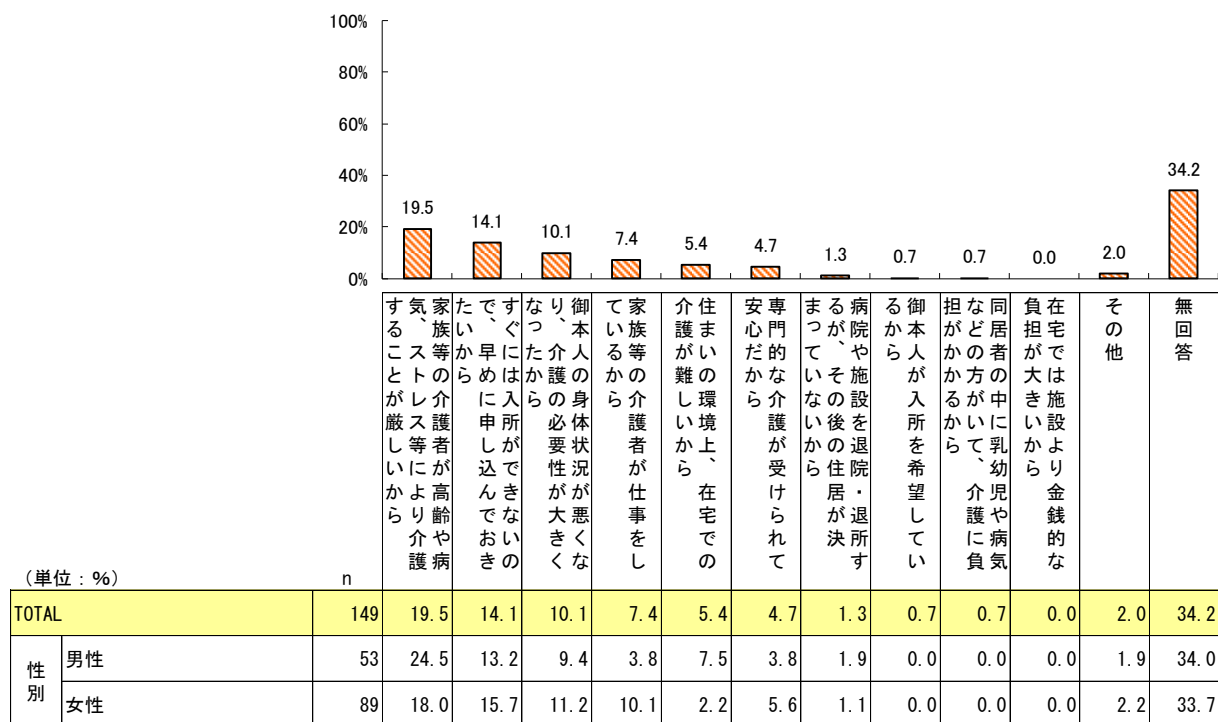
図表 6.33 特別養護老人ホームに入所の申し込みをした理由





最も大きい入所申込理由は、「家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが厳しいから」が 19.5%と最も多くなっています。次いで、「すぐには入所ができないので、早めに申し込んでおきたいから」が 14.1%、「御本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから」が 10.1%の順となっています。

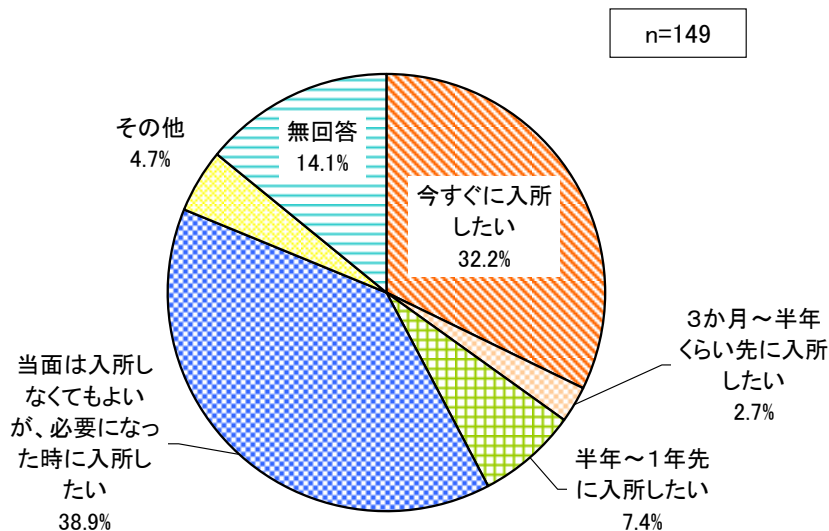
図表 6.34 特別養護老人ホームに入所の申し込みをした理由(最も大きな理由)



問20 特別養護老人ホームに入所したい時期はいつですか。(ひとつだけ○)

入所したい時期は、「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」が38.9%と最も多くなっています。次いで、「今すぐに入所したい」が32.2%、「半年～1年先に入所したい」が7.4%、「3か月～半年くらい先に入所したい」が2.7%の順となっています。

図表 6.35 特別養護老人ホームに入所したい時期



家族構成別では、いずれの項目においても「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」は3割を超えており、「一人暮らし」では8割（83.3%）を超えています。

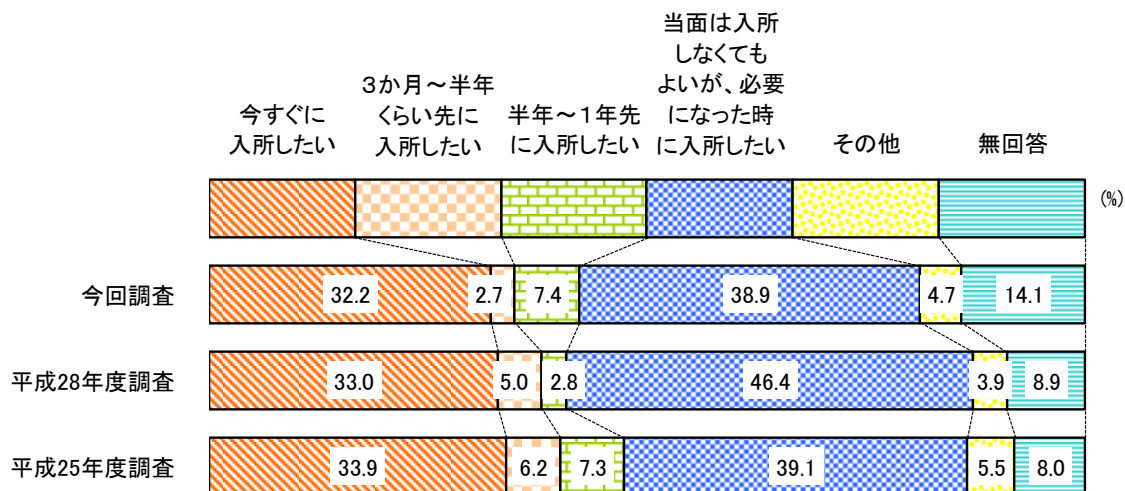
図表 6.36 特別養護老人ホームに入所したい時期

		n	今 す ぐ に 入 所 し た い	3 か 月 し た ら い 先	半 年 か ら 1 年 先 に 入 所 し	当 面 は 入 所 し な く て も よ い が 、 必 要 に な っ た 時 に 入 所 し た い	そ の 他	無 回 答
(単位：%)								
TOTAL		149	32.2	2.7	7.4	38.9	4.7	14.1
性別	男性	53	24.5	1.9	5.7	39.6	7.5	20.8
	女性	89	37.1	3.4	9.0	38.2	3.4	9.0
家族 構 成	一人暮らし	12	0.0	0.0	8.3	83.3	0.0	8.3
	夫婦二人暮らし	8	12.5	0.0	25.0	50.0	0.0	12.5
	その他の同居世帯	42	38.1	2.4	9.5	40.5	0.0	9.5
	その他（施設入居など）	76	35.5	3.9	3.9	32.9	9.2	14.5

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「当面は入所しなくてもよいが、必要になった時に入所したい」、「3か月～半年くらい先に入所したい」が減少している一方で、「半年～1年先に入所したい」は増加しています。「今すぐ入所したい」では、大きな差はみられません。

図表 6.37 特別養護老人ホームに入所したい時期

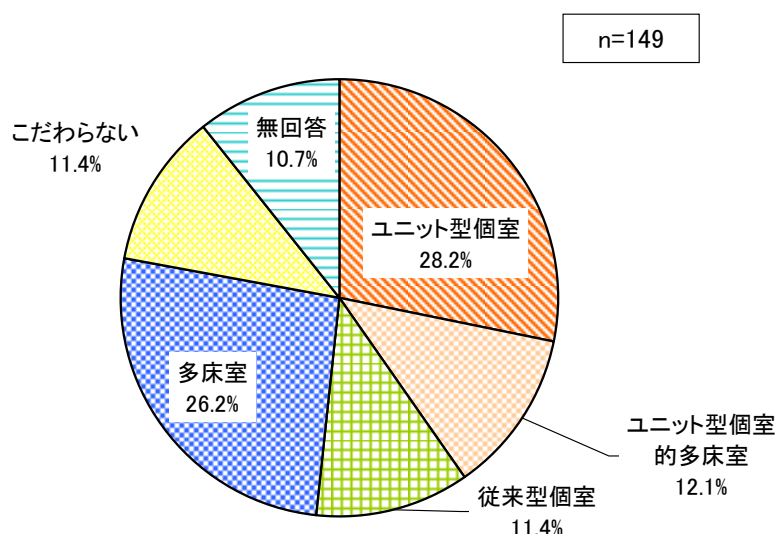


問21 どのような居室を希望しますか。(ひとつだけ○)

どのような居室を希望するかたずねたところ、「ユニット型個室（数人で1つの共有スペースがあり、交流しながら個室で過ごします）」が28.2%と最も多くなっています。次いで、「多床室（4人部屋です）」が26.2%、「ユニット型個室的多床室（数人で1つの共有スペースがあり、交流しながら準個室で過ごします。準個室は、壁と天井の間には一定の隙間があることなどが認められています）」が12.1%の順となっています。

家族構成別では、「一人暮らし」は「ユニット型個室」（50.0%）が他の家族構成と比べて高くなっています。

図表 6.38 どのような居室を希望するか

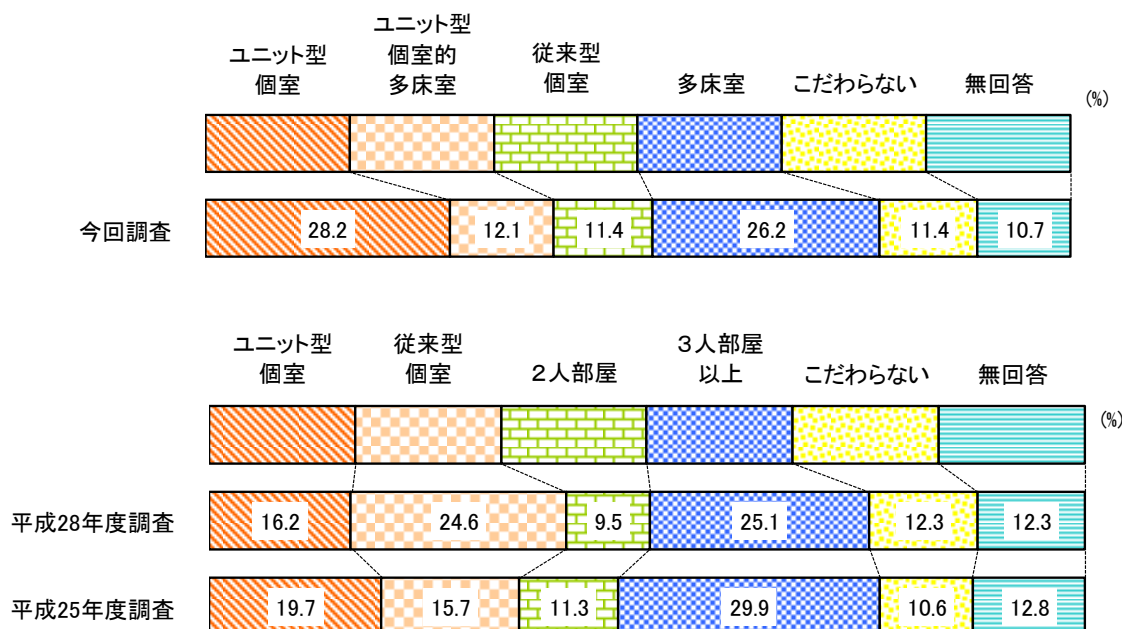


		n	ユニット型個室	ユニット型個室的多床室	従来型個室	多床室	こだわらない	無回答
(単位：%)								
TOTAL		149	28.2	12.1	11.4	26.2	11.4	10.7
性別	男性	53	30.2	9.4	9.4	32.1	3.8	15.1
	女性	89	28.1	14.6	12.4	21.3	16.9	6.7
家族構成	一人暮らし	12	50.0	0.0	25.0	8.3	8.3	8.3
	夫婦二人暮らし	8	12.5	12.5	25.0	12.5	25.0	12.5
	その他の同居世帯	42	23.8	11.9	11.9	21.4	19.0	11.9
	その他（施設入居など）	76	28.9	15.8	7.9	34.2	6.6	6.6

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「ユニット型個室」が増加しています。一方で、「従来型個室」は減少しています。

図表 6.39 どのような居室を希望するか



それぞれの居室を選んだ理由(以下、44件から抜粋)

(1) ユニット型個室

- ・ 独語が多く個室が望ましいと思う。(男性、70歳~74歳、要介護2)
- ・ 睡眠時は一人が良いので。(女性、90歳以上、要介護3)
- ・ 家族の面会等プライバシーの理由(男性、90歳以上、要介護3)
- ・ 交流しながら個室の方が淋しくないのではないかと?個室の方が皆に迷惑かからないでよい?むずかしいです。(男性、90歳以上、要介護4)
- ・ 認知症もあるため他者とのトラブルは最小限にしたいため。(男性、85歳~89歳、要介護4)
- ・ 共有スペース...いろいろな面で刺激を受け認知症予防になる 個室...プライバシーが保たれるから(女性、90歳以上、要介護4)
- ・ 本来の理想の姿だから。(男性、90歳以上、要介護5)
- ・ 個室の方がストレスが少ないので。(男性、90歳以上、要介護5)

(2) ユニット型個室的多床室

- ・ 個室だと淋しいので(男性、80歳~84歳、要介護3)

(3) 従来型個室

- ・ センターの職員さんに個室の方がいいのではと言われた。(無回答、無回答、要介護3)

- ・ 性格的に一人でないと無理。(女性、85歳～89歳、要介護3)
- ・ 盲目で声が大きく、他の人の迷惑になるから。(女性、90歳以上、要介護4)
- ・ 他人様にご迷惑をかけないため。(男性、75歳～79歳、要介護5)

#### (4) 多床室

- ・ 2割負担のため、費用が高く、有料老人ホーム等には入れない、特養も新しい所は入居費用が高くなり、入居できない。いろいろな見学にも行ったがすばらしい所はたくさんあるが、入居するには費用が20万円をこえる。(男性、80歳～84歳、要介護2)
- ・ 性格的に一人で自立することを好まないことが理由である。(女性、90歳以上、要介護3)
- ・ 本人の年金で・・・。(女性、90歳以上、要介護3)
- ・ 少しでも安い方が良い為。月5万円程度の年金であれば個室などは到底ムリ。(女性、80歳～84歳、要介護3)
- ・ ユニット型個室に入所したいのですが、金額が約5万円ぐらい違うため、多床室に入所希望した。(女性、85歳～89歳、要介護4)
- ・ 金銭的な理由と、一人だと寂しいので。(女性、80歳～84歳、要介護4)
- ・ 安いから。(男性、80歳～84歳、要介護5)
- ・ 多床室=安いから (女性、90歳以上、要介護5)
- ・

#### (5) こだわらない

- ・ おしゃべりの大好きな母なので、たくさんの方とワイワイ過ごせます。特養のしっかりとした見守りや介護があれば、どんなお部屋でも大丈夫です。(女性、80歳～84歳、要介護3)

#### (6) 無回答

- ・ 待機者に向く居室がいずれかよくわからない！(女性、85歳～89歳、要介護5)

問22 平塚市の介護保険制度・高齢者福祉施策に対して、御意見、御要望がございましたら、御自由にお書きください。

(以下、149件から抜粋)

(1) 介護、介護保険、居宅サービス、施設・居住系サービス

- ヘルパーの質がとても低いです。長年訪問介護を利用しておりますが、年々低下していると思います。介護保険の性質上、同保険で出来る家事に限りがあるのは、理解出来ますが、それを理由としていいかげんな作業しかしないヘルパーもいます。(女性、85歳～89歳、要介護5)
- 待機者の現状把握した上でのアドバイスや意見の聞き取りなど行ってほしい。(女性、85歳～89歳、要介護5)
- 特養を希望し、何件か申し込んでいますが、待機者が100人待ちと言われ、どうすれば良いのか？今は老健でお世話になっていますが、1日中1人で家屋に居る状態です。おむつも決まった時間に見て頂いているのか？わかりません。毎週決まった曜日に面会に行っていますが、部屋中尿くさく、ずぼんがびしょりの時もありました。人手不足はわかりますが愛情のある介護を希望したいです。(女性、90歳以上、要介護4)
- 設問17で、申し込み5年以上が一番長く、当方いつになったら順番が回ってくるか疑念をもつ。私が市民になって20年、母と二人暮らしで東京勤務であるため平塚市に知り合いも少なく、順番が回ってくる事もチャンスが少ないかと感じます。既に申し込みから8～9年になります。助けていただけるのを待つ事だけです。(女性、80歳～84歳、要介護4)
- まず、認知症対応型のグループホームは料金が高いです。特養含む施設の順番待ちは何年も、そして400人、700人待ちはあたりまえです。デイとショートを利用してなんとかやりくりして来ましたが、仕事をしながら認知症の母親の留守番をさせる日が(日曜日)1日あり、日曜日預かってくれる所はなかなかありません。デイサービスをほぼ毎日利用していましたが、ショートステイで預けるとぼーっと一日過ごすらしく、なかなか本人の希望にそうものではありません。ショートステイ時もデイサービスのように一日のカリキュラムがあると良いと思いました。(ショートだけではなく特養もデイへの参加が出来るとありがたいです。寝たきりの認知症患者ばかりではなく、身体の丈夫な方もたくさんいます。)こんなに待つことなく本当に困っている人のための施設をもっと増やしてほしいです。平塚で(神奈川県で)入所できなくて、8月から群馬の住宅型ホームにやっとお世話になっていきます。大切な母親を同じ平塚市で入所させてあげたいです。片道2時間かかる距離が遠く、すぐに会える平塚市の施設が利用できたらうれしいです。(母親が活着ている間に順番が回ってくることを願うばかりです。)又、本人の年金で支払える施設をぜひおねがいします。(女性、80歳～84歳、要介護3)
- 高額な施設は年金じゃ入所出来ない事実です。年金が少ない方々はどのようにして入所が出来るのかつい考えてしまうのです。体の弱いものは介護が出来なくて思いなやんでいます。何しろ足ががくがくの体で生活しています。(妻にて)(男性、80歳～84歳、要介護4)
- 介護認定を認知症が発覚し、老健に入ってから数回受けているが、本人の病状(認知症)は変わらないのに、受ける度要介護度が下がっている。正直納得いかないし、次回の更新が3年後だとしても施設にいられる介護度から外れてしまうのでは？ととても不安。面接の際自宅にいと問題行動が多く、現状のお話も切々としているのに、そういう所を汲んでもらえないのはおかしいと思う。(女性、75歳～79歳、要介護2)



**(2) 医療、医療と介護の連携、看取り**

- ・ 特養への入所希望をしていますが、身体の状態が待機中に悪化してきており、入所対象から除外されてしまいそうで困っています。看取り迄してもらえる機能をもった施設として入所しようとしているが、拒否された場合、私達はどうすればいいのか、といった不安をかかえております。老健施設はお話をききましたが、看取りはできないと言っており、病院の入院対象でもなく、対象となるのは高額な料金のかかる有料ホーム、病院しかない様です。平塚市の体制はどうなっているのか、と思います。(女性、75歳～79歳、要介護5)

**(3) 情報提供、相談**

- ・ 市の高齢福祉課等、電話等で相談するととても丁寧に対応して頂けるのはありがたい。(男性、90歳以上、要介護3)
- ・ 現在は親が有料老人ホーム(介護付)に入所しているが、スタッフ等は優しい方が多いが、システム上に契約書通りじゃない事等あってこういう施設に対しての自治体の介入(と言えば大げさですが) 監査の権限はないのか気になる。(男性、90歳以上、要介護3)
- ・ それぞれの特養の詳しい情報がわかる資料があればと思う。インターネットで調べたり直接電話したりする前に知りたいと思う。(男性、90歳以上、要介護3)
- ・ 他の行政の状況についての知識はあまりなく、判らないことが多いが、自分も含め老々介護の現実を思うと行政の施策に頼らざるを得ず、御願ひするしかないと思っています。(女性、85歳～89歳、要介護3)

**(4) 生活支援、地域での見守り、ひとり暮らしの支援**

- ・ おむつ代が大変なので少しでも負担していただけたらと思います。(男性、80歳～84歳、要介護3)

**(5) その他(制度、施策、アイデアなど)**

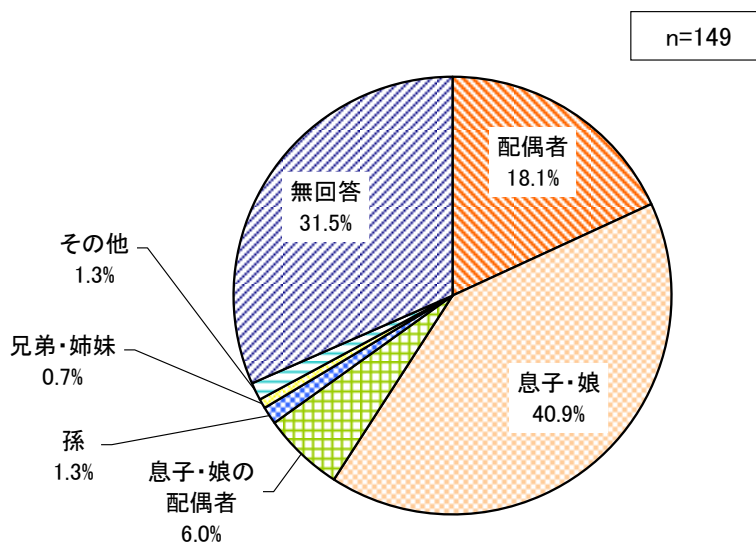
- ・ 他の市町村の事はわかりませんが、大変良いと思います。お知らせ等も大変わかりやすく理解しやすいです。限度額等も有り助かっています。(女性、75歳～79歳、要介護3)
- ・ 介護保険制度の全体像が理解できてなかったのが初めは近づき難かった。(女性、70歳～74歳、要介護4)
- ・ 簡単な介助、リハビリをマスターできる資格制度を作り、近隣の一般の方の遊休資産(時間)の中で働いていただく。例えば、私の母がこの制度に登録してお世話いただく事を希望した場合(私も同意した場合)、私もこの資格制度で資格を取得して、私の遊休資産(時間)の中で働かせていただく。仮:信用シェアリングエコノミー 国や市はお金をかけない新制度を確立でき、現在の各施設で働いている関係スタッフの労働環境の改善につながり、利用者は安心してまた追加の費用をかけずして働くことができるのではないかと。ご検討よろしくお願ひします。(女性、65歳～69歳、要介護3)
- ・ スタッフの方々が気持ちよく仕事できる環境作りを充実してもらいたい。それが入所者にも良い環境になると思えるので。(女性、90歳以上、要介護4)

(4) 中心介護者について

問 23 中心となって介護をしている方は宛名の御本人から見てどのような御関係にありますか。(ひとつだけ○)

中心となる介護者は、「息子・娘」が40.9%と最も多くなっています。次いで、「配偶者」が18.1%、「息子・娘の配偶者」が6.0%の順となっています。

図表 6.40 中心となる介護者

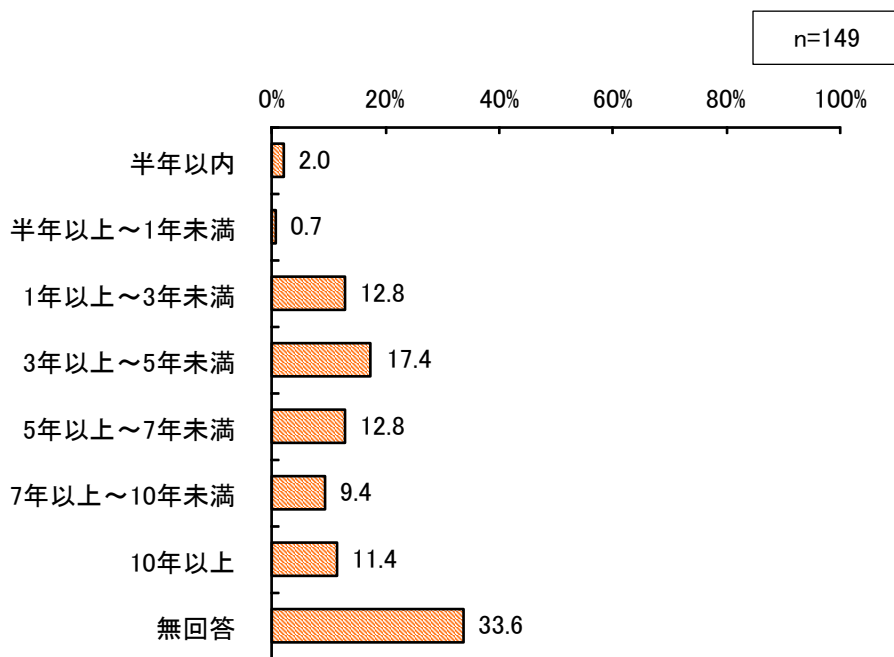


		n	配偶者	息子・娘	息子・娘の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	無回答
(単位: %)									
TOTAL		149	18.1	40.9	6.0	1.3	0.7	1.3	31.5
性別	男性	53	34.0	24.5	0.0	0.0	1.9	3.8	35.8
	女性	89	10.1	50.6	10.1	2.2	0.0	0.0	27.0

問24 介護をし始めてから現在までの期間は、どのくらいですか。(ひとつだけ○)

介護期間は、「3年以上～5年未満」が17.4%と最も多くなっています。次いで、「1年以上～3年未満」と「5年以上～7年未満」がそれぞれ12.8%、「10年以上」が11.4%の順となっています。

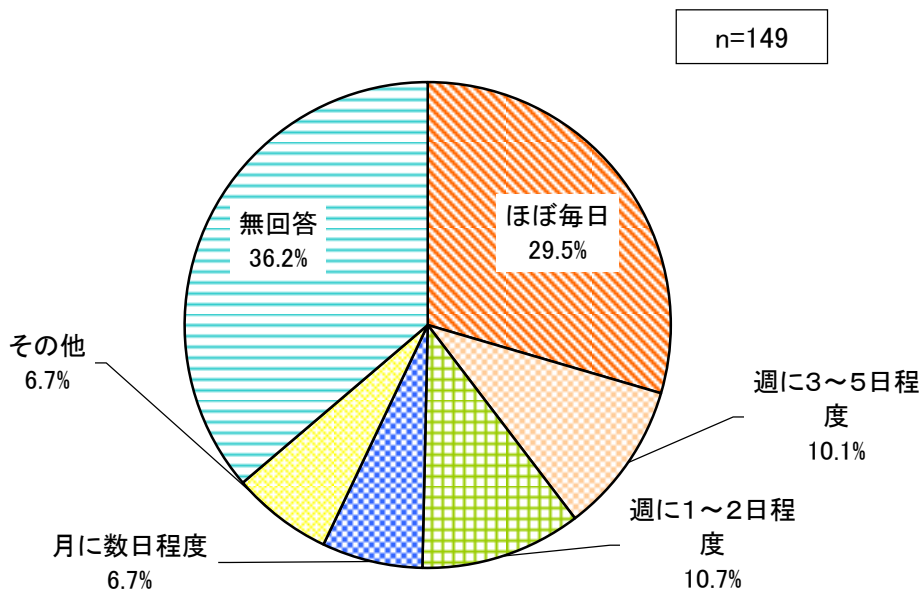
図表 6.41 介護期間



問25 どのくらいの頻度で介護をしていますか。(ひとつだけ○)

介護の頻度は、「ほぼ毎日」が29.5%と最も多くなっています。次いで、「週に1～2日程度」が10.7%、「週に3～5日程度」が10.1%の順となっています。

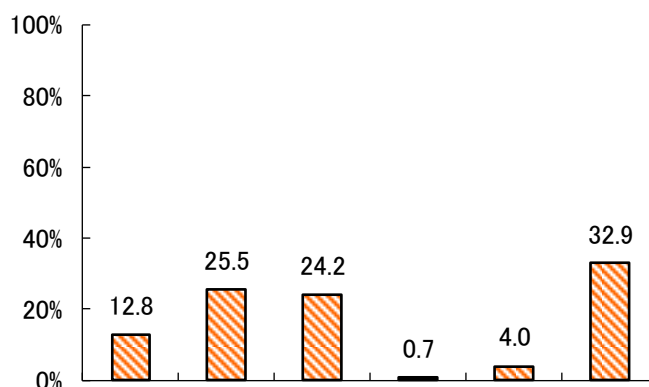
図表 6.42 介護の頻度



問 26 介護をしている中で、特別養護老人ホームへの入所についてどのように考えますか。  
(ひとつだけ○)

特別養護老人ホームへの入所についての考えは、「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所させるしかない」が 25.5%と最も多くなっています。次いで、「在宅でなく、施設への入所が望ましいと考えている」が 24.2%、「在宅介護を受けながら、できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい」が 12.8%の順となっています。

図表 6.43 特別養護老人ホームへの入所についての考え



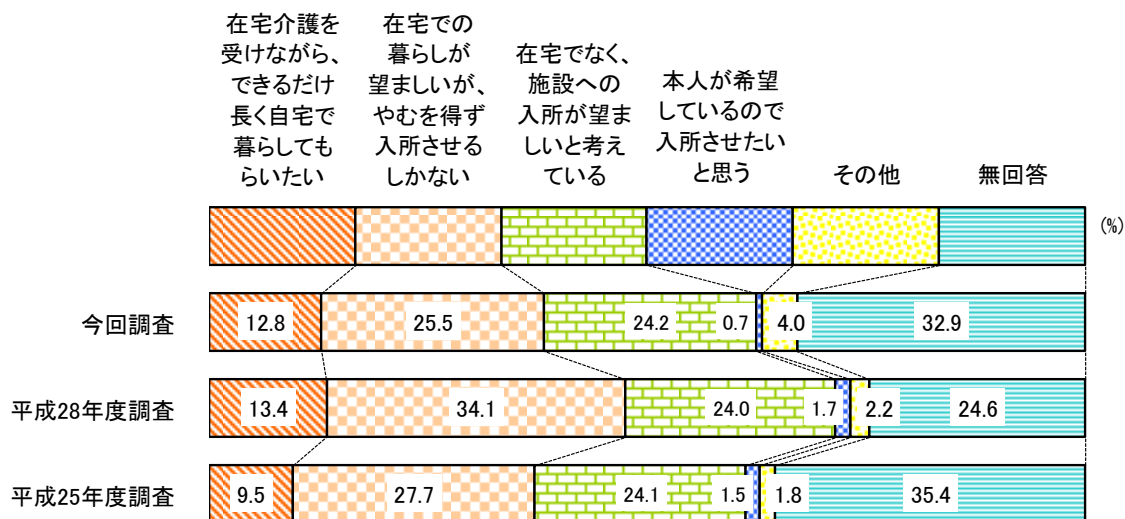
(単位：%)

		n	らる在宅介護を受けながら、できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい	在宅でなく、施設への入所が望ましいと考えている	在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所させるしかない	本人が希望している	その他	無回答
TOTAL		149	12.8	25.5	24.2	0.7	4.0	32.9
性別	男性	53	17.0	18.9	18.9	0.0	5.7	39.6
	女性	89	11.2	31.5	27.0	0.0	3.4	27.0
中心介護者	配偶者	27	22.2	40.7	25.9	0.0	3.7	7.4
	息子・娘	61	18.0	32.8	37.7	1.6	8.2	1.6
	息子・娘の配偶者	9	11.1	55.6	33.3	0.0	0.0	0.0
	孫	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	兄弟・姉妹	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0

(経年比較)

前回（平成28年度）と比較してみると、「在宅介護を受けながら、できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい」、「在宅でなく、施設への入所が望ましいと考えている」では大きな差はみられません。しかし、「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所させるしかない」が減少しています。

図表 6.44 特別養護老人ホームへの入所についての考え

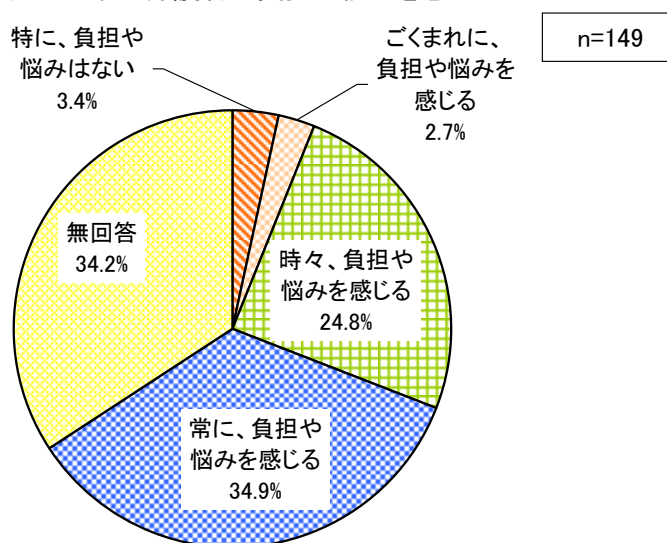


問27 中心となって介護をしている方は、介護の負担や悩みを感じることがありますか。  
(ひとつだけ○)

中心介護者の負担や悩みについては、「時々、負担や悩みを感じる」が24.8%、「常に、負担や悩みを感じる」が34.9%で合わせて『負担や悩みを感じる』は59.7%となっています。これに対して、「特に、負担や悩みはない」が3.4%、「ごくまれに、負担や悩みを感じる」が2.7%となっています。

中心となる介護者別では、「配偶者」、「息子・娘」は約9割、「孫」は全員が『負担や悩みを感じる』（「時々、負担や悩みを感じる」「常に、負担や悩みを感じる」の合計）と回答しています。

図表 6.45 中心介護者は負担や悩みを感じているか

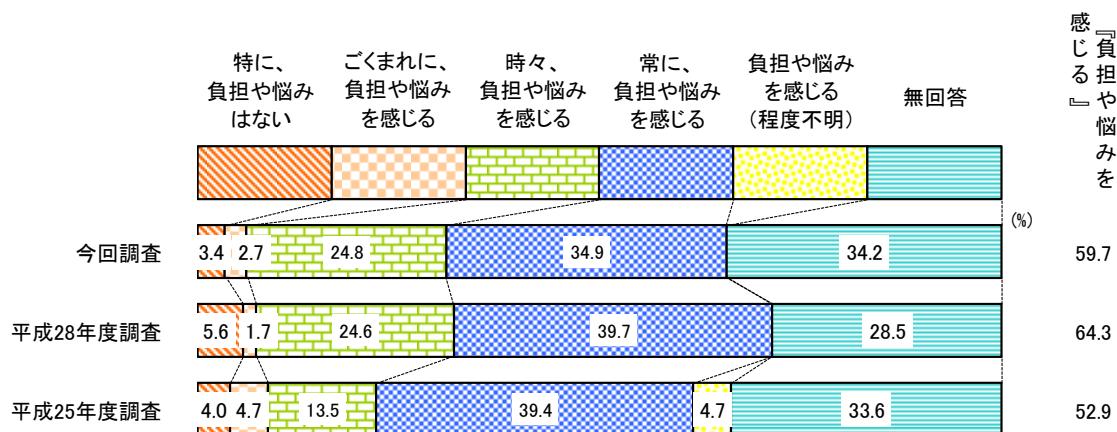


		n	特に、負担や悩みはない	ごくまれに、負担や悩みを感じる	時々、負担や悩みを感じる	常に、負担や悩みを感じる	無回答	『負担や悩みを感じる』
(単位：%)								
TOTAL		149	3.4	2.7	24.8	34.9	34.2	59.7
中心介護者	配偶者	27	7.4	3.7	37.0	48.1	3.7	85.1
	息子・娘	61	3.3	1.6	32.8	55.7	6.6	88.5
	息子・娘の配偶者	9	0.0	22.2	44.4	33.3	0.0	77.7
	孫	2	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0
	兄弟・姉妹	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	その他	2	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

(経年比較)

前回(平成28年度)と比較してみると、「時々、負担や悩みを感じる」では大きな差はみられません。しかし、「常に、負担や悩みを感じる」は約5ポイント減少しています。

図表 6.46 中心介護者は負担や悩みを感じているか



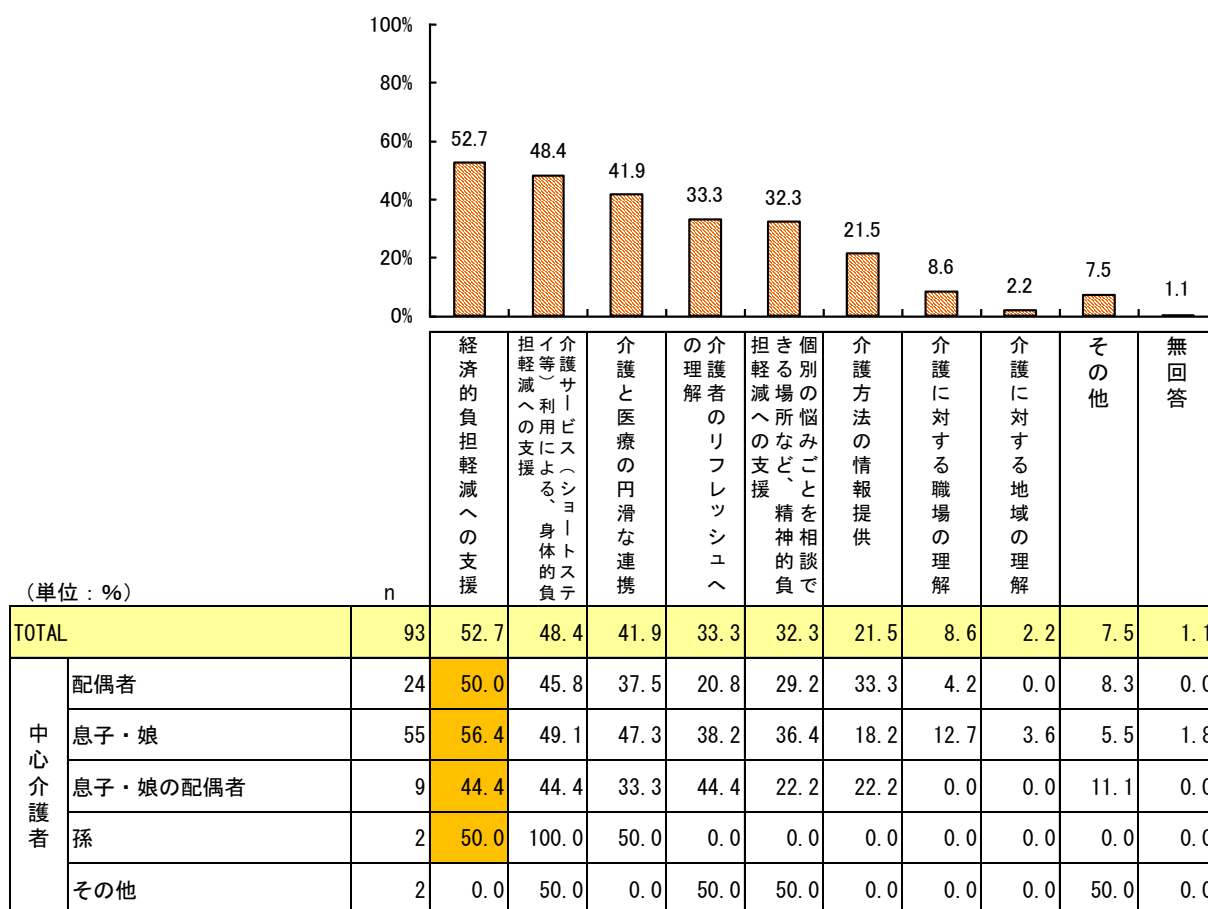


問 27-1 問 27 で 2、3、4 に ○ をつけた方にうかがいます。負担や悩みを和らげるにはどのような理解や支援が必要ですか。(あてはまるものすべてに○)

中心となる介護者の方に介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援をたずねたところ、「経済的負担軽減への支援」が 52.7% と最も多くなっています。次いで、「介護サービス（ショートステイ等）利用による、身体的負担軽減への支援」が 48.4%、「介護と医療の円滑な連携」が 41.9% の順となっています。

中心となる介護者別では、いずれの項目においても「経済的負担軽減への支援」が 4 割～5 割台と多くなっています。

図表 6.47 介護者の負担や悩みを和らげるために必要な理解や支援



問28 中心となって介護をしている方が、介護者支援として充実を望むことは何ですか。  
(主なものを3つまで○)

中心となる介護者の方が充実を望むことは、「特別養護老人ホームなどの施設整備」が39.6%と最も多くなっています。次いで、「ヘルパーの訪問や通いのサービスなどの介護保険サービスの充実」が32.9%、「公的な機関などの個人的な相談機関」が16.1%の順となっています。

図表 6.48 中心介護者が充実を望むこと

